

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 自由 / required, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190582001001	科目番号 / Course code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Course title	情報基礎(E(情1)) / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	一藤 裕 / Ichifuji Yu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	一藤 裕 / Ichifuji Yu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	一藤 裕 / Ichifuji Yu		
科目分類 / Course Category	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他, 大学院科目[構造]		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	ICT基盤センターセミナールーム		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	情報基礎(E(情1))		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ichifuji nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2096		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールで教員と時間調整を行うこと		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>【授業の概要】</p> <p>情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)が生活する上での「生きる力」の一つとなっている。大学での学びにおいては、パソコンやネットワークを学術的な情報活用のためのツールとして不自由なく扱えるためのスキルと能力が必要不可欠である。そこで、長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎力として、情報リテラシーを1年次で身につけることとしている。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身につけるとともに、さまざまな情報システムやソフトウェアの活用技術を習得する。授業は、講義と演習を組み合わせる。講義の内容を確実に理解させるため、パソコンの操作演習の課題に加え、授業時間内外に取り組むレポート課題や自習課題を出す。主体的学習促進支援システム(LACS)を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用する。</p> <p>【授業の位置づけ】</p> <p>本科目は教養教育における情報科学科目である。 (情報処理入門)本科目は全学教育における情報処理科目である。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>情報端末やネットワークを適切に用いて、情報及び情報技術を正しく扱える情報リテラシーを身につけることを到達目標とする。</p> <p>この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できるようになる</li> <li>(2) 情報、情報機器、やネットワークを利用する際の倫理やセキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できるようになる</li> <li>(3) インターネット(Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算についての基本を理解し、操作方法や活用方法を説明できるようになる</li> <li>(4) 情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集、分析、活用できるようになる</li> <li>(5) 自身のノートパソコンについて、基本的なセットアップ作業や大学の提供するネットワーク環境への接続を通じて、利用できるようになる</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題等の提出物及び小テスト50%、定期試験50%として、総合的に評価を行う予定。課された課題を全て提出しない場合、定期試験の得点に関係なく、不合格となることがあるので注意すること。 原則として全回出席を前提とする。ただし、やむを得ず正当な理由で欠席する場合は担当教員に連絡すること。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	文書作成、表計算、プレゼンテーションにおいては、予習として、指示された内容について、教科書に沿って実行し、成果物をLACS上で提出すること。復習課題等については、授業中に別途指示する。 情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり、情報のデジタル化、コンピュータの基礎、ネットワークの基礎、ネットワーク利用と情報の検索においては、予習として、指示された教科書の内容について熟読すること。復習課題等については、授業中に別途指示する。
キーワード/Keywords	情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：「情報基礎」(生協のみで購入可能。一般の書店では入手できないので注意) 上繁義史、「情報基礎 はじめて学ぶICTの世界」、培風館、2016年 教材：必要に応じて、資料や課題などをLACSにアップする。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	Windows 10/8.1及びMS-Office Professional/Home&Business 2013以降がインストールされたノートPC及びACアダプタを毎回必ず持参すること。 上記のMS-Office製品がインストールされていない場合、本学が無償提供するOffice 365 ProPlusをインストールすること。 再履修者もは大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講すること。(情報処理入門)履修者は大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講すること。 <a href="http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/H29/30pc-model.pdf">http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/H29/30pc-model.pdf</a>
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	<a href="https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/">https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/</a>
学生へのメッセージ/Message for students	本科目では、予習を前提とした授業を進めるので、各自が積極的に学習に取り組むよう望む。なお、理解状況によって、各回の授業の進度の調整や順序の変更等を行うことがある。各自が所有するノートパソコンの活用法を十二分に習得してもらいたい。 初回授業からノートパソコンを利用するので、セットアップした上で必ず持参すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y/N)	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name/Details of practical experience/Contents of course	
授業計画詳細/Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents
第1回	【ガイダンス】 授業の概要及び大学のICTシステムの説明、無線LAN接続 必ずノートパソコンを持参すること。
第2回	【PCとLACSの活用】 LACSの機能の紹介と操作実習、電子メールの操作実習
第3回	【情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり】 (情報セキュリティ関連)情報セキュリティの定義、個人・組織がとるべきセキュリティ対策、ICTに関するストレス対策 (情報倫理、法律関連)情報倫理、ネチケット、個人情報保護など 次の日程で、授業時間以外に情報セキュリティに関する特別授業を行うので、クラスごとに指定された日時に必ず出席すること。 日時：4月15日(月) 第5校時 もしくは 4月16日(火) 第5校時(多文化・教育・経済・水産) 4月18日(木) 第5校時 もしくは 4月19日(金) 第5校時(医学・歯学・薬学・工学・環境科学) 場所：中部講堂 (情報処理入門) 次の日程で、授業時間以外に情報セキュリティに関する特別授業を行うので、いずれか1回に必ず出席すること。
第4回	【表計算(1/4)】 Microsoft Excelの基礎、データ・数式・関数の入力、表の書式設定、セルの参照
第5回	【表計算(2/4)】 表の印刷レイアウトの設定、印刷方法、グラフの作成
第6回	【情報のデジタル化】 デジタル化の意味、数字・文字・音声・画像のデジタル化

第7回	【表計算(3/4)】 さまざまな関数の活用
第8回	【表計算(4/4)】 複数シートの操作、データベースの操作
第9回	【コンピュータの基礎】 コンピュータの構成、オペレーティングシステムの基礎
第10回	【文書作成(1/2)】 Microsoft Wordの基礎、文字と段落の書式、オブジェクトの操作、表の作成、数式の作成
第11回	【文書作成(2/2)】 ページ設定、印刷方法、ページ罫線、ワードアート挿入、スタイルの設定
第12回	【プレゼンテーション】 Microsoft PowerPointの基礎、資料作成上の留意点、プレゼンテーションの作成、アニメーション等の効果の活用等
第13回	【ネットワークの基礎】 ネットワークの構成、インターネットの基礎、クラウド
第14回	【ネットワーク利用と情報の検索】 WWW、情報の検索、著作権
第15回	【総合演習】 授業の振り返り
定期試験	【定期試験】

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 自由 / required, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190582001002	科目番号 / Course code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Course title	情報基礎(P1) / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi		
科目分類 / Course Category	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他, 大学院科目[構造]		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	ICT基盤センターセミナールーム		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	薬学部薬学科1年 (P1クラス)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yueshige nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2254		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月5 (事前にメール等で教員と時間調整を行うこと)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>【授業の概要】</p> <p>情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)が生活する上での「生きる力」の一つとなっている。大学での学びにおいては、パソコンやネットワークを学術的な情報活用のためのツールとして不自由なく扱えるためのスキルと能力が必要不可欠である。そこで、長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎力として、情報リテラシーを1年次で身につけることとしている。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身につけるとともに、さまざまな情報システムやソフトウェアの活用技術を習得する。授業は、講義と演習を組み合わせる。講義の内容を確実に理解させるため、パソコンの操作演習の課題に加え、授業時間内外に取り組みレポート課題や自習課題を出す。主体的学習促進支援システム(LACS)を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用する。</p> <p>【授業の位置づけ】</p> <p>本科目は教養教育における情報科学科目である。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>情報端末やネットワークを適切に用いて、情報及び情報技術を正しく扱える情報リテラシーを身につけることを到達目標とする。</p> <p>この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できるようになる</li> <li>(2) 情報、情報機器、やネットワークを利用する際の倫理やセキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できるようになる</li> <li>(3) インターネット(Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算についての基本を理解し、操作方法や活用方法を説明できるようになる</li> <li>(4) 情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集、分析、活用できるようになる</li> <li>(5) 自身のノートパソコンについて、基本的なセットアップ作業や大学の提供するネットワーク環境への接続を通じて、利用できるようになる</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br/&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br/&gt; Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br/&gt; Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br/&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br/&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br/&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題等の提出物及び小テスト70%、定期試験30%として、総合的に評価を行う予定。課された課題を全て提出しない場合、定期試験の得点に関係なく、不合格となることがあるので注意すること。 原則として全回出席を前提とする。ただし、やむを得ず正当な理由で欠席する場合は担当教員に連絡すること。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	文書作成、表計算、プレゼンテーションにおいては、予習として、指示された内容について、教科書に沿って実行し、成果物をLACS上で提出すること。復習課題等については、授業中に別途指示する。 情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり、情報のデジタル化、コンピュータの基礎、ネットワークの基礎、ネットワーク利用と情報の検索においては、予習として、指示された教科書の内容について熟読すること。復習課題等については、授業中に別途指示する。
キーワード/Keywords	情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：「情報基礎」(生協のみで購入可能。一般の書店では入手できないので注意) 上繁義史、「情報基礎 はじめて学ぶICTの世界」、培風館、2016年 教材：必要に応じて、資料や課題などをLACSにアップする。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	Windows 10及びMS-Office Professional/Home&Business 2016以降がインストールされたノートPC及びACアダプタを毎回必ず持参すること。 上記のMS-Office製品がインストールされていない場合、本学が無償提供するOffice 365 ProPlusをインストールすること。 再履修者も大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講すること。 <a href="http://www.cc.nagasaki-u.ac.jp/service/essential_pc/variety_purchase.html">http://www.cc.nagasaki-u.ac.jp/service/essential_pc/variety_purchase.html</a>
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	<a href="https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/">https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/</a>
学生へのメッセージ/Message for students	本科目では、予習を前提とした授業を進めるので、各自が積極的に学習に取り組むよう望む。なお、理解状況によって、各回の授業の進度の調整や順序の変更等を行うことがある。 各自が所有するノートパソコンの活用法を十二分に習得してもらいたい。 初回授業からノートパソコンを利用するので、セットアップした上で必ず持参すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	上繁 義史 / 財団法人北九州産業学術推進機構、財団法人九州システム情報技術研究所にて、研究員としてIT関連技術の研究に従事/コンピュータの構成要素や基本操作などの技術、情報セキュリティや情報倫理などの話題について講義・演習を行う。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	【ガイダンス】 授業の概要及び大学のICTシステムの説明、無線LAN接続 必ずノートパソコンを持参すること。
第2回	【PCとLACSの活用】 LACSの機能の紹介と操作実習、電子メールの操作実習
第3回	【情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり】 (情報セキュリティ関連)情報セキュリティの定義、個人・組織がとるべきセキュリティ対策、ICTに関するストレス対策 (情報倫理、法律関連)情報倫理、ネチケット、個人情報保護など 次の日程で、授業時間以外に情報セキュリティに関する特別授業を行うので、クラスごとに指定された日時に必ず出席すること。 日時：4月18日(木)5校時 (上位年次生は4月15日、16日、18日、19日のいずれの回に出席しても良い) 場所：中部講堂
第4回	【プレゼンテーション】 Microsoft PowerPointの基礎、資料作成上の留意点、プレゼンテーションの作成、アニメーション等の効果の活用等
第5回	【文書作成】 Microsoft Wordの基礎、文字と段落の書式、ページ設定、オブジェクトの操作、表の作成、印刷方法、ページ設定、スタイルの設定
第6回	【表計算(1/5)】 Microsoft Excelの基礎、データ・数式・関数の入力、表の書式設定、セルの参照
第7回	【情報のデジタル化】 デジタル化の意味、数字・文字・音声・画像のデジタル化

第8回	【表計算(2/5)】 表の印刷レイアウトの設定、印刷方法、グラフの作成
第9回	【表計算(3/5)】 さまざまな関数の活用
第10回	【コンピュータの基礎】 コンピュータの構成、オペレーティングシステムの基礎
第11回	【表計算(4/5)】 複数シートの操作、データベースの操作
第12回	【表計算(5/5)】 高度なグラフの作成、ピボットテーブルの作成
第13回	【ネットワークの基礎】 ネットワークの構成、インターネットの基礎、クラウド
第14回	【ネットワーク利用と情報の検索】 WWW、情報の検索、著作権
第15回	【総合演習】 授業の振り返り
第16回	【定期試験】

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 自由 / required, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190582001003	科目番号 / Course code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Course title	情報基礎(F(情1)) / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	一藤 裕 / Ichifuji Yu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	一藤 裕 / Ichifuji Yu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	一藤 裕 / Ichifuji Yu		
科目分類 / Course Category	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他, 大学院科目[構造]		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	ICT基盤センターセミナールーム		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	情報基礎(F(情1))		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ichifuji nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2096		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールで教員と時間調整を行うこと		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>【授業の概要】</p> <p>情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)が生活する上での「生きる力」の一つとなっている。大学での学びにおいては、パソコンやネットワークを学術的な情報活用のためのツールとして不自由なく扱えるためのスキルと能力が必要不可欠である。そこで、長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎力として、情報リテラシーを1年次で身につけることとしている。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身につけるとともに、さまざまな情報システムやソフトウェアの活用技術を習得する。授業は、講義と演習を組み合わせる。講義の内容を確実に理解させるため、パソコンの操作演習の課題に加え、授業時間内外に取り組みレポート課題や自習課題を出す。主体的学習促進支援システム(LACS)を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用する。</p> <p>【授業の位置づけ】</p> <p>本科目は教養教育における情報科学科目である。 (情報処理入門)本科目は全学教育における情報処理科目である。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>情報端末やネットワークを適切に用いて、情報及び情報技術を正しく扱える情報リテラシーを身につけることを到達目標とする。</p> <p>この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げる。</p> <p>(1) 情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できるようになる</p> <p>(2) 情報、情報機器、やネットワークを利用する際の倫理やセキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できるようになる</p> <p>(3) インターネット(Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算についての基本を理解し、操作方法や活用方法を説明できるようになる</p> <p>(4) 情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集、分析、活用できるようになる</p> <p>(5) 自身のノートパソコンについて、基本的なセットアップ作業や大学の提供するネットワーク環境への接続を通じて、利用できるようになる</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題等の提出物及び小テスト50%、定期試験50%として、総合的に評価を行う予定。 課された課題を全て提出しない場合、定期試験の得点に関係なく、不合格となることがあるので注意すること。 原則として全回出席を前提とする。ただし、やむを得ず正当な理由で欠席する場合は担当教員に連絡すること。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	文書作成、表計算、プレゼンテーションにおいては、予習として、指示された内容について、教科書に沿って実行し、成果物をLACS上で提出すること。復習課題等については、授業中に別途指示する。 情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり、情報のデジタル化、コンピュータの基礎、ネットワークの基礎、ネットワーク利用と情報の検索においては、予習として、指示された教科書の内容について熟読すること。復習課題等については、授業中に別途指示する。
キーワード/Keywords	情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：「情報基礎」(生協のみで購入可能。一般の書店では入手できないので注意) 上 繁義史、「情報基礎 はじめて学ぶICTの世界」、培風館、2016年 教材：必要に応じて、資料や課題などをLACSにアップする。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	Windows 10/8.1及びMS-Office Professional/Home&Business 2013以降がインストールされたノートPC及びACアダプタを毎回必ず持参すること。 上記のMS-Office製品がインストールされていない場合、本学が無償提供するOffice 365 ProPlusをインストールすること。 再履修者もは大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講すること。 (情報処理入門)履修者は大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講すること。 <a href="http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/H29/30pc-model.pdf">http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/H29/30pc-model.pdf</a>
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	<a href="https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/">https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/</a>
学生へのメッセージ/Message for students	本科目では、予習を前提とした授業を進めるので、各自が積極的に学習に取り組むよう望む。なお、理解状況によって、各回の授業の進度の調整や順序の変更等を行うことがある。 各自が所有するノートパソコンの活用法を十二分に習得してもらいたい。 初回授業からノートパソコンを利用するので、セットアップした上で必ず持参すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y/N)	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細/Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents
第1回	【ガイダンス】 授業の概要及び大学のICTシステムの説明、無線LAN接続 必ずノートパソコンを持参すること。
第2回	【PCとLACSの活用】 LACSの機能の紹介と操作実習、電子メールの操作実習
第3回	【情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり】 (情報セキュリティ関連)情報セキュリティの定義、個人・組織がとるべきセキュリティ対策、ICTに関するストレス対策 (情報倫理、法律関連)情報倫理、ネチケット、個人情報保護など 次の日程で、授業時間以外に情報セキュリティに関する特別授業を行うので、クラスごとに指定された日時に必ず出席すること。 日時：4月15日(月) 第5校時 もしくは 4月16日(火) 第5校時(多文化・教育・経済・水産) 4月18日(木) 第5校時 もしくは 4月19日(金) 第5校時(医学・歯学・薬学・工学・環境科学) 場所：中部講堂 (情報処理入門) 次の日程で、授業時間以外に情報セキュリティに関する特別授業を行うので、いずれか1回に必ず出席すること。
第4回	【表計算(1/4)】 Microsoft Excelの基礎、データ・数式・関数の入力、表の書式設定、セルの参照
第5回	【表計算(2/4)】 表の印刷レイアウトの設定、印刷方法、グラフの作成
第6回	【情報のデジタル化】 デジタル化の意味、数字・文字・音声・画像のデジタル化



第7回	【表計算(3/4)】 さまざまな関数の活用
第8回	【表計算(4/4)】 複数シートの操作、データベースの操作
第9回	【コンピュータの基礎】 コンピュータの構成、オペレーティングシステムの基礎
第10回	【文書作成(1/2)】 Microsoft Wordの基礎、文字と段落の書式、オブジェクトの操作、表の作成、数式の作成
第11回	【文書作成(2/2)】 ページ設定、印刷方法、ページ罫線、ワードアート挿入、スタイルの設定
第12回	【プレゼンテーション】 Microsoft PowerPointの基礎、資料作成上の留意点、プレゼンテーションの作成、アニメーション等の効果の活用等
第13回	【ネットワークの基礎】 ネットワークの構成、インターネットの基礎、クラウド
第14回	【ネットワーク利用と情報の検索】 WWW、情報の検索、著作権
第15回	【総合演習】 授業の振り返り
定期試験	【定期試験】

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 自由 / required, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190582001004	科目番号 / Course code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Course title	情報基礎(G(情2)) / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	一藤 裕 / Ichifuji Yu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	一藤 裕 / Ichifuji Yu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	一藤 裕 / Ichifuji Yu		
科目分類 / Course Category	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他, 大学院科目[構造]		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	ICT基盤センターセミナールーム		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	情報基礎(G(情2))		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ichifuji_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2096		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールで教員と時間調整を行うこと		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>【授業の概要】</p> <p>情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)が生活する上での「生きる力」の一つとなっている。長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎力として、情報リテラシーを1年次で身につけることとしている。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身につけるとともに、さまざまな情報システムやソフトウェアの活用技術を習得する。</p> <p>【授業の位置づけ】</p> <p>本科目は教養教育における情報科学科目である。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>情報端末を用いて正しく情報を扱える情報リテラシーを身につけることを到達目標とする。この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できる</li> <li>・情報機器やネットワークを利用する際の倫理やセキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できる</li> <li>・インターネット(Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算についての基本を理解し、操作方法や活用方法を説明できる</li> <li>・情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集、分析、活用できる</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>課題等の提出物及び小テスト50%、定期試験50%として、総合的に評価を行う予定。課された課題を全て提出しない場合、定期試験の得点に関係なく、不合格となることがあるので注意すること。</p> <p>原則として全回出席を前提とする。ただし、やむを得ず正当な理由で欠席する場合は担当教員に連絡すること。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	文書作成、表計算、プレゼンテーションにおいては、予習として、指示された内容について、教科書に沿って実行し、成果物をLACS上で提出すること。復習課題等については、授業中に別途指示する。 情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり、情報のデジタル化、コンピュータの基礎、ネットワークの基礎、ネットワーク利用と情報の検索においては、予習として、指示された教科書の内容について熟読すること。復習課題等については、授業中に別途指示する。
キーワード/Keywords	情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：「情報基礎」（生協のみで購入可能。一般の書店では入手できないので注意） 上繁義史、「情報基礎 はじめて学ぶICTの世界」、培風館、2016年 教材：必要に応じて、資料や課題などをLACSにアップする。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	Windows 10/8.1及びMS-Office Professional/Home&Business 2013以降がインストールされたノートPC及びACアダプタを毎回必ず持参すること。 上記のMS-Office製品がインストールされていない場合、本学が無償提供するOffice 365 ProPlusをインストールすること。 再履修者もは大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講すること。（情報処理入門）履修者は大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講すること。 <a href="http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/H29/30pc-model.pdf">http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/H29/30pc-model.pdf</a>
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	<a href="https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/">https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/</a>
学生へのメッセージ/Message for students	本科目では、予習を前提とした授業を進めるので、各自が積極的に学習に取り組むよう望む。なお、理解状況によって、各回の授業の進度の調整や順序の変更等を行うことがある。各自が所有するノートパソコンの活用法を十二分に習得してもらいたい。初回授業からノートパソコンを利用するので、セットアップした上で必ず持参すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	【ガイダンス】 授業の概要及び大学のICTシステムの説明、無線LAN接続 必ずノートパソコンを持参すること。
第2回	【PCとLACSの活用】 LACSの機能の紹介と操作実習、電子メールの操作実習
第3回	【情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり】 （情報セキュリティ関連）情報セキュリティの定義、個人・組織がとるべきセキュリティ対策、ICTに関するストレス対策 （情報倫理、法律関連）情報倫理、ネチケット、個人情報保護など 次の日程で、授業時間以外に情報セキュリティに関する特別授業を行うので、クラスごとに指定された日時に必ず出席すること。 日時：4月15日(月) 第5校時 もしくは 4月16日(火) 第5校時（多文化・教育・経済・水産） 4月18日(木) 第5校時 もしくは 4月19日(金) 第5校時（医学・歯学・薬学・工学・環境科学） 場所：中部講堂 （情報処理入門） 次の日程で、授業時間以外に情報セキュリティに関する特別授業を行うので、いずれか1回に必ず出席すること。
第4回	【表計算(1/4)】 Microsoft Excelの基礎、データ・数式・関数の入力、表の書式設定、セルの参照
第5回	【表計算(2/4)】 表の印刷レイアウトの設定、印刷方法、グラフの作成
第6回	【情報のデジタル化】 デジタル化の意味、数字・文字・音声・画像のデジタル化
第7回	【表計算(3/4)】 さまざまな関数の活用
第8回	【表計算(4/4)】 複数シートの操作、データベースの操作
第9回	【コンピュータの基礎】 コンピュータの構成、オペレーティングシステムの基礎

第10回	【文書作成(1/2)】 Microsoft Wordの基礎、文字と段落の書式、オブジェクトの操作、表の作成、数式の作成
第11回	【文書作成(2/2)】 ページ設定、印刷方法、ページ罫線、ワードアート挿入、スタイルの設定
第12回	【プレゼンテーション】 Microsoft PowerPointの基礎、資料作成上の留意点、プレゼンテーションの作成、アニメーション等の効果の活用等
第13回	【ネットワークの基礎】 ネットワークの構成、インターネットの基礎、クラウド
第14回	【ネットワーク利用と情報の検索】 WWW、情報の検索、著作権
第15回	【総合演習】 授業の振り返り
定期試験	【定期試験】

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修, 自由 / required, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190582001005	科目番号 / Course code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Course title	情報基礎(E(情2)) / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	一藤 裕 / Ichifuji Yu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	一藤 裕 / Ichifuji Yu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	一藤 裕 / Ichifuji Yu		
科目分類 / Course Category	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他, 大学院科目[構造]		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	ICT基盤センターセミナールーム		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	情報基礎(E(情2))		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ichifuji_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2096		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールで教員と時間調整を行うこと		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>【授業の概要】</p> <p>情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)が生活する上での「生きる力」の一つとなっている。大学での学びにおいては、パソコンやネットワークを学術的な情報活用のためのツールとして不自由なく扱えるためのスキルと能力が必要不可欠である。そこで、長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎力として、情報リテラシーを1年次で身につけることとしている。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身につけるとともに、さまざまな情報システムやソフトウェアの活用技術を習得する。授業は、講義と演習を組み合わせる。講義の内容を確実に理解させるため、パソコンの操作演習の課題に加え、授業時間内外に取り組むレポート課題や自習課題を出す。主体的学習促進支援システム(LACS)を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用する。</p> <p>【授業の位置づけ】</p> <p>本科目は教養教育における情報科学科目である。 (情報処理入門)本科目は全学教育における情報処理科目である。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>情報端末やネットワークを適切に用いて、情報及び情報技術を正しく扱える情報リテラシーを身につけることを到達目標とする。</p> <p>この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げる。</p> <p>(1) 情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できるようになる</p> <p>(2) 情報、情報機器、やネットワークを利用する際の倫理やセキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できるようになる</p> <p>(3) インターネット(Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算についての基本を理解し、操作方法や活用方法を説明できるようになる</p> <p>(4) 情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集、分析、活用できるようになる</p> <p>(5) 自身のノートパソコンについて、基本的なセットアップ作業や大学の提供するネットワーク環境への接続を通じて、利用できるようになる</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題等の提出物及び小テスト50%、定期試験50%として、総合的に評価を行う予定。課された課題を全て提出しない場合、定期試験の得点に関係なく、不合格となることがあるので注意すること。 原則として全回出席を前提とする。ただし、やむを得ず正当な理由で欠席する場合は担当教員に連絡すること。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	文書作成、表計算、プレゼンテーションにおいては、予習として、指示された内容について、教科書に沿って実行し、成果物をLACS上で提出すること。復習課題等については、授業中に別途指示する。 情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり、情報のデジタル化、コンピュータの基礎、ネットワークの基礎、ネットワーク利用と情報の検索においては、予習として、指示された教科書の内容について熟読すること。復習課題等については、授業中に別途指示する。
キーワード/Keywords	情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：「情報基礎」(生協のみで購入可能。一般の書店では入手できないので注意) 上繁義史、「情報基礎 はじめて学ぶICTの世界」、培風館、2016年 教材：必要に応じて、資料や課題などをLACSにアップする。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	Windows 10/8.1及びMS-Office Professional/Home&Business 2013以降がインストールされたノートPC及びACアダプタを毎回必ず持参すること。 上記のMS-Office製品がインストールされていない場合、本学が無償提供するOffice 365 ProPlusをインストールすること。 再履修者もは大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講すること。(情報処理入門)履修者は大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講すること。 <a href="http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/H29/30pc-model.pdf">http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/H29/30pc-model.pdf</a>
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	<a href="https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/">https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/</a>
学生へのメッセージ/Message for students	本科目では、予習を前提とした授業を進めるので、各自が積極的に学習に取り組むよう望む。なお、理解状況によって、各回の授業の進度の調整や順序の変更等を行うことがある。各自が所有するノートパソコンの活用法を十二分に習得してもらいたい。 初回授業からノートパソコンを利用するので、セットアップした上で必ず持参すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y/N)	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細/Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents
第1回	【ガイダンス】 授業の概要及び大学のICTシステムの説明、無線LAN接続 必ずノートパソコンを持参すること。
第2回	【PCとLACSの活用】 LACSの機能の紹介と操作実習、電子メールの操作実習
第3回	【情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり】 (情報セキュリティ関連)情報セキュリティの定義、個人・組織がとるべきセキュリティ対策、ICTに関するストレス対策 (情報倫理、法律関連)情報倫理、ネチケット、個人情報保護など 次の日程で、授業時間以外に情報セキュリティに関する特別授業を行うので、クラスごとに指定された日時に必ず出席すること。 日時：4月15日(月) 第5校時 もしくは 4月16日(火) 第5校時(多文化・教育・経済・水産) 4月18日(木) 第5校時 もしくは 4月19日(金) 第5校時(医学・歯学・薬学・工学・環境科学) 場所：中部講堂 (情報処理入門) 次の日程で、授業時間以外に情報セキュリティに関する特別授業を行うので、いずれか1回に必ず出席すること。
第4回	【表計算(1/4)】 Microsoft Excelの基礎、データ・数式・関数の入力、表の書式設定、セルの参照
第5回	【表計算(2/4)】 表の印刷レイアウトの設定、印刷方法、グラフの作成
第6回	【情報のデジタル化】 デジタル化の意味、数字・文字・音声・画像のデジタル化

第7回	【表計算(3/4)】 さまざまな関数の活用
第8回	【表計算(4/4)】 複数シートの操作、データベースの操作
第9回	【コンピュータの基礎】 コンピュータの構成、オペレーティングシステムの基礎
第10回	【文書作成(1/2)】 Microsoft Wordの基礎、文字と段落の書式、オブジェクトの操作、表の作成、数式の作成
第11回	【文書作成(2/2)】 ページ設定、印刷方法、ページ罫線、ワードアート挿入、スタイルの設定
第12回	【プレゼンテーション】 Microsoft PowerPointの基礎、資料作成上の留意点、プレゼンテーションの作成、アニメーション等の効果の活用等
第13回	【ネットワークの基礎】 ネットワークの構成、インターネットの基礎、クラウド
第14回	【ネットワーク利用と情報の検索】 WWW、情報の検索、著作権
第15回	【総合演習】 授業の振り返り
定期試験	【定期試験】

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修, 自由 / required, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190582001006	科目番号 / Course code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Course title	情報基礎(G(情1)) / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	一藤 裕 / Ichifuji Yu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	一藤 裕 / Ichifuji Yu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	一藤 裕 / Ichifuji Yu		
科目分類 / Course Category	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他, 大学院科目[構造]		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	ICT基盤センターセミナールーム		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	情報基礎(G(情1))		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ichifuji nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2096		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールで教員と時間調整を行うこと		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>【授業の概要】</p> <p>情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)が生活する上での「生きる力」の一つとなっている。大学での学びにおいては、パソコンやネットワークを学術的な情報活用のためのツールとして不自由なく扱えるためのスキルと能力が必要不可欠である。そこで、長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎力として、情報リテラシーを1年次で身につけることとしている。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身につけるとともに、さまざまな情報システムやソフトウェアの活用技術を習得する。授業は、講義と演習を組み合わせる。講義の内容を確実に理解させるため、パソコンの操作演習の課題に加え、授業時間内外に取り組みレポート課題や自習課題を出す。主体的学習促進支援システム(LACS)を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用する。</p> <p>【授業の位置づけ】</p> <p>本科目は教養教育における情報科学科目である。 (情報処理入門)本科目は全学教育における情報処理科目である。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>情報端末やネットワークを適切に用いて、情報及び情報技術を正しく扱える情報リテラシーを身につけることを到達目標とする。</p> <p>この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できるようになる</li> <li>(2) 情報、情報機器、やネットワークを利用する際の倫理やセキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できるようになる</li> <li>(3) インターネット(Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算についての基本を理解し、操作方法や活用方法を説明できるようになる</li> <li>(4) 情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集、分析、活用できるようになる</li> <li>(5) 自身のノートパソコンについて、基本的なセットアップ作業や大学の提供するネットワーク環境への接続を通じて、利用できるようになる</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		



成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題等の提出物及び小テスト50%、定期試験50%として、総合的に評価を行う予定。課された課題を全て提出しない場合、定期試験の得点に関係なく、不合格となることがあるので注意すること。 原則として全回出席を前提とする。ただし、やむを得ず正当な理由で欠席する場合は担当教員に連絡すること。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	文書作成、表計算、プレゼンテーションにおいては、予習として、指示された内容について、教科書に沿って実行し、成果物をLACS上で提出すること。復習課題等については、授業中に別途指示する。 情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり、情報のデジタル化、コンピュータの基礎、ネットワークの基礎、ネットワーク利用と情報の検索においては、予習として、指示された教科書の内容について熟読すること。復習課題等については、授業中に別途指示する。
キーワード/Keywords	情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：「情報基礎」(生協のみで購入可能。一般の書店では入手できないので注意) 上繁義史、「情報基礎 はじめて学ぶICTの世界」、培風館、2016年 教材：必要に応じて、資料や課題などをLACSにアップする。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	Windows 10/8.1及びMS-Office Professional/Home&Business 2013以降がインストールされたノートPC及びACアダプタを毎回必ず持参すること。 上記のMS-Office製品がインストールされていない場合、本学が無償提供するOffice 365 ProPlusをインストールすること。 再履修者もは大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講すること。(情報処理入門)履修者は大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講すること。 <a href="http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/H29/30pc-model.pdf">http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/H29/30pc-model.pdf</a>
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	<a href="https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/">https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/</a>
学生へのメッセージ/Message for students	本科目では、予習を前提とした授業を進めるので、各自が積極的に学習に取り組むよう望む。なお、理解状況によって、各回の授業の進度の調整や順序の変更等を行うことがある。各自が所有するノートパソコンの活用法を十二分に習得してもらいたい。 初回授業からノートパソコンを利用するので、セットアップした上で必ず持参すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y/N)	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name/Details of practical experience/Contents of course	
授業計画詳細/Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents
第1回	【ガイダンス】 授業の概要及び大学のICTシステムの説明、無線LAN接続 必ずノートパソコンを持参すること。
第2回	【PCとLACSの活用】 LACSの機能の紹介と操作実習、電子メールの操作実習
第3回	【情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり】 (情報セキュリティ関連)情報セキュリティの定義、個人・組織がとるべきセキュリティ対策、ICTに関するストレス対策 (情報倫理、法律関連)情報倫理、ネチケット、個人情報保護など 次の日程で、授業時間以外に情報セキュリティに関する特別授業を行うので、クラスごとに指定された日時に必ず出席すること。 日時：4月15日(月) 第5校時 もしくは 4月16日(火) 第5校時(多文化・教育・経済・水産) 4月18日(木) 第5校時 もしくは 4月19日(金) 第5校時(医学・歯学・薬学・工学・環境科学) 場所：中部講堂 (情報処理入門) 次の日程で、授業時間以外に情報セキュリティに関する特別授業を行うので、いずれか1回に必ず出席すること。
第4回	【表計算(1/4)】 Microsoft Excelの基礎、データ・数式・関数の入力、表の書式設定、セルの参照
第5回	【表計算(2/4)】 表の印刷レイアウトの設定、印刷方法、グラフの作成
第6回	【情報のデジタル化】 デジタル化の意味、数字・文字・音声・画像のデジタル化

第7回	【表計算(3/4)】 さまざまな関数の活用
第8回	【表計算(4/4)】 複数シートの操作、データベースの操作
第9回	【コンピュータの基礎】 コンピュータの構成、オペレーティングシステムの基礎
第10回	【文書作成(1/2)】 Microsoft Wordの基礎、文字と段落の書式、オブジェクトの操作、表の作成、数式の作成
第11回	【文書作成(2/2)】 ページ設定、印刷方法、ページ罫線、ワードアート挿入、スタイルの設定
第12回	【プレゼンテーション】 Microsoft PowerPointの基礎、資料作成上の留意点、プレゼンテーションの作成、アニメーション等の効果の活用等
第13回	【ネットワークの基礎】 ネットワークの構成、インターネットの基礎、クラウド
第14回	【ネットワーク利用と情報の検索】 WWW、情報の検索、著作権
第15回	【総合演習】 授業の振り返り
定期試験	【定期試験】

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修, 自由 / required, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190582001007	科目番号 / Course code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Course title	情報基礎(E(情3)) / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
科目分類 / Course Category	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他, 大学院科目[構造]		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	ICT基盤センターセミナールーム		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	E(情3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sigh_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6F 631		
担当教員TEL/Tel	095-820-6372		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義時間前後、および、sigh@nagasaki-u.ac.jp にて受け付けています。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>【授業の概要】</p> <p>情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)は生活する上での「生きる力」の一つとなっています。大学での学びにおいては、パソコンやネットワークを学術的な情報活用のための道具として不自由なく扱えるためのスキルと能力が必要不可欠となります。そこで、長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎力として、情報リテラシーを1年次に身につけることとしています。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身につけるとともに、さまざまな情報システムやソフトウェアの活用技術を習得します。授業は、講義と演習を組み合わせを進めます。講義内容を確実に理解するために、パソコンの操作演習の課題に加え、授業時間内外に取り組むレポート課題や自習課題を課します。講義では、主体的学習促進支援システム(LACS)を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用します。</p> <p>【授業の位置づけ】</p> <p>本科目は教養教育における情報科学科目です。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>情報端末やネットワークを適切に用いて、情報及び情報技術を正しく扱える情報リテラシーを身につけることを到達目標とします。</p> <p>この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できるようになる</li> <li>・情報、情報機器、やネットワークを利用する際の倫理やセキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できるようになる</li> <li>・インターネット(Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算についての基本を理解し、操作方法や活用方法を説明できるようになる</li> <li>・情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集、分析、活用できるようになる</li> <li>・自身のノートパソコンについて、基本的なセットアップ作業や大学の提供するネットワーク環境への接続を通じて、利用できるようになる</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>定期試験 30% コンピュータの動作原理、情報を扱う上で必要となる倫理観等が実際に理解できているかを筆記式の試験で確認します。</p> <p>演習課題 60% 機器操作を伴う課題への取り組みや完成状況を基に判断します。</p> <p>授業への参加状況 10% なお、作業指示に従わない場合や演習妨害等の行為は減点として扱います。</p>		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	文書作成、表計算、プレゼンテーションにおいては、予習として、指示された内容を教科書に沿って実行し、成果物をLACS上で提出してください。復習課題等については、授業中に別途指示します。 情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり、情報のデジタル化、コンピュータの基礎、ネットワークの基礎、ネットワーク利用と情報の検索においては、予習として、指示された教科書の内容について熟読してください。復習課題等については、授業中に別途指示します。
キーワード/Keywords	情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会
教科書・教材・参考書/Materials	教科書： 「情報基礎」（生協のみで購入可能。一般の書店では入手できないので注意して下さい）。 上繁義史，「情報基礎 はじめて学ぶICTの世界」，培風館，2016年，ISBN978-4-563-01593-0 教材：必要に応じて、資料や課題などをLACSにて公開します。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	Windows 10及びMS-Office Professional / Home&Business 2016以降がインストールされたノートPC、及びACアダプタを毎回必ず持参してください。 上記のMS-Office製品がインストールされていない場合、本学が無償提供するOffice 365 ProPlusをインストールしてください。 再履修者は大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講してください。 <a href="http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/H30/31pc-model.pdf">http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/H30/31pc-model.pdf</a>
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	<a href="https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/">https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/</a>
学生へのメッセージ/Message for students	コンピュータの操作に慣れていない場合は、毎日少しの時間でもキーボードに触れる時間をとることが望まれます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	鈴木 斉/ソフトウェア開発系企業での勤務経験/ソフトウェア開発系企業での勤務経験を有する教員がコンピュータに関する基本的な原理や情報に関する基礎理論について解説する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第01回 4月 9日	【ガイダンス】 授業の概要及び大学のICTシステムの説明、無線LAN接続、LACSの基本操作実習、電子メールの操作実習 必ずノートパソコンを持参すること。
第02回 4月16日	【PCとLACSの活用】 LACS紹介と操作実習、電子メール利用実習、Office365セットアップ Microsoft Wordの基礎、Microsoft Excelの基礎、Microsoft PowerPointの基礎 必ずノートパソコンを持参すること。
第03回 4月16日	【情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり】 (情報セキュリティ関連) 情報セキュリティの定義、個人・組織がとるべきセキュリティ対策、ICTに関するストレス対策 (情報倫理、法律関連) 情報倫理、ネチケット、個人情報保護など 通常の授業時間と異なる日程で、情報セキュリティに関する特別授業形式で行います。 日時：4月16日(火) 第5校時 場所：中部講堂 多文化・教育・経済学部合同で行います。
第04回 5月 7日	【コンピュータとネットワークの基礎1】 コンピュータの構成、オペレーティングシステムの基礎、ネットワークの構成、インターネットの基礎、クラウド
第05回 5月14日	【プレゼンテーション1/2】 プレゼンテーションの構成変更、動作設定、印刷
第06回 5月21日	【表計算1/4】 Microsoft Excelの基礎、基本操作、データ・数式・関数の入力、セルの参照、表の書式設定
第07回 5月28日	【表計算2/4】 表の印刷レイアウトの設定、印刷方法、グラフの作成、データの検索、複数シートを使ったデータ処理
第08回 6月 4日	【表計算3/4】 関数、表示形式設定、条件付き書式、高度なグラフの作成
第09回 6月11日	【表計算4/4】 ピボットテーブル、データベースの活用、マクロ活用

第10回 6月18日	【情報のデジタル化】 情報のデジタル化とは、文字・音声・画像のデジタル化
第11回 6月25日	【文書作成1/2】 Microsoft Wordの操作、文字・段落の書式、オブジェクトの操作、表の作成、数式の作成
第12回 7月 2日	【文書作成2/2】 ページの設定、印刷方法、ワードアート挿入、スタイルの設定
第13回 7月 9日	【コンピュータとネットワークの基礎2】 コンピュータの構成、オペレーティングシステムの基礎、ネットワークの構成、インターネットの基礎、クラウド
第14回 7月23日	【プレゼンテーション2/2】 別アプリのデータ利用、共通デザインの設定
第15回 7月30日	【総合演習】授業の振り返り
第16回	【定期試験】まとめ、試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修, 自由 / required, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190582001008	科目番号 / Course code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Course title	情報基礎(P2) / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
科目分類 / Course Category	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他, 大学院科目[構造]		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	薬学部薬科学科1年(P2クラス)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-niwa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火 9:00?11:00 (事前にメール等で教員と時間調整を行うこと)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p><b>【授業の概要】</b>  情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)が生活する上での「生きる力」の一つとなっている。大学での学びにおいては、パソコンやネットワークを学術的な情報活用のためのツールとして不自由なく扱えるためのスキルと能力が必要不可欠である。そこで、長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎力として、情報リテラシーを1年次で身につけることとしている。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身につけるとともに、さまざまな情報システムやソフトウェアの活用技術を習得する。授業は、講義と演習を組み合わせる。講義の内容を確実に理解させるため、パソコンの操作演習の課題に加え、授業時間内外に取り組みレポート課題や自習課題を出す。主体的学習促進支援システム(LACS)を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用する。</p> <p><b>【授業の位置づけ】</b>  本科目は教養教育における情報科学科目である。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>情報端末やネットワークを適切に用いて、情報及び情報技術を正しく扱える情報リテラシーを身につけることを到達目標とする。</p> <p>この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できるようになる</li> <li>(2) 情報、情報機器、やネットワークを利用する際の倫理やセキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できるようになる</li> <li>(3) インターネット(Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算についての基本を理解し、操作方法や活用方法を説明できるようになる</li> <li>(4) 情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集、分析、活用できるようになる</li> <li>(5) 自身のノートパソコンについて、基本的なセットアップ作業や大学の提供するネットワーク環境への接続を通じて、利用できるようになる</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br/&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br/&gt; Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br/&gt; Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br/&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br/&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br/&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題等の提出物及び小テスト70%、定期試験30%として、総合的に評価を行う予定。 課された課題を全て提出しない場合、定期試験の得点に関係なく、不合格となることがあるので注意すること。 原則として全回出席を前提とする。ただし、やむを得ず正当な理由で欠席する場合は担当教員に連絡すること。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	文書作成、表計算、プレゼンテーションにおいては、予習として、指示された内容について、教科書に沿って実行し、成果物をLACS上で提出すること。復習課題等については、授業中に別途指示する。 情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり、情報のデジタル化、コンピュータの基礎、ネットワークの基礎、ネットワーク利用と情報の検索においては、予習として、指示された教科書の内容について熟読すること。復習課題等については、授業中に別途指示する。
キーワード/Keywords	情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：「情報基礎」(生協のみで購入可能。一般の書店では入手できないので注意) 上繁義史、「情報基礎 はじめて学ぶICTの世界」、培風館、2016年 教材：必要に応じて、資料や課題などをLACSにアップする。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	Windows 10/8.1及びMS-Office Professional/Home&Business 2013以降がインストールされたノートPC及びACアダプタを毎回必ず持参すること。 上記のMS-Office製品がインストールされていない場合、本学が無償提供するOffice 365 ProPlusをインストールすること。 再履修者も大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講すること。 <a href="http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/H29/30pc-model.pdf">http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/H29/30pc-model.pdf</a>
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	<a href="https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/">https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/</a>
学生へのメッセージ/Message for students	本科目では、予習を前提とした授業を進めるので、各自が積極的に学習に取り組むよう望む。なお、理解状況によって、各回の授業の進捗の調整や順序の変更等を行うことがある。 各自が所有するノートパソコンの活用法を十二分に習得してほしい。 初回授業からノートパソコンを利用するので、セットアップした上で必ず持参すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	実務家教員名：丹羽量久 【実務経験内容】 社会基盤構造物の設計・製作に関する線形/非線形構造解析のコンサルテーションおよび技術営業業務、橋梁の自動設計システムのうち変形・応力を計算するソフトウェア群の開発、科学技術やWebに関わるITシステム構築の提案を行う営業業務、既存業務以外の分野における新規事業の開拓・事業化、および関係部署のマネージャーとしての年度計画の立案・数値の管理・統制等の業務。 【実務経験に基づく教育内容】 コンピュータやインターネットに関わるときに注意すべきことについて、その仕組みや根拠を実務から得た問題点等を加味しながら講義する。また、演習の際は、周りとのコミュニケーションを取りながら、わからないことを解決していく経験を積ませる。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	【ガイダンス】 授業の概要及び大学のICTシステムの説明、無線LAN接続 必ずノートパソコンを持参すること。
第2回	【PCとLACSの活用】 LACSの機能の紹介と操作実習、電子メールの操作実習
第3回	【情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり】 (情報セキュリティ関連)情報セキュリティの定義、個人・組織がとるべきセキュリティ対策、ICTに関するストレス対策 (情報倫理、法律関連)情報倫理、ネチケット、個人情報保護など 次の日程で、授業時間以外に情報セキュリティに関する特別授業を行うので、クラスごとに指定された日時に必ず出席すること。 日時：4月15日(月) 第5校時 もしくは 4月16日(火) 第5校時(多文化・教育・経済・水産) 4月18日(木) 第5校時 もしくは 4月19日(金) 第5校時(医学・歯学・薬学・工学・環境科学) 場所：中部講堂
第4回	【プレゼンテーション】 Microsoft PowerPointの基礎、資料作成上の留意点、プレゼンテーションの作成、アニメーション等の効果の活用等
第5回	【文書作成】 Microsoft Wordの基礎、文字と段落の書式、ページ設定、オブジェクトの操作、表の作成、印刷方法、ページ設定、スタイルの設定

第6回	【表計算(1/5)】 Microsoft Excelの基礎、データ・数式・関数の入力、表の書式設定、セルの参照
第7回	【情報のデジタル化】 デジタル化の意味、数字・文字・音声・画像のデジタル化
第8回	【表計算(2/5)】 表の印刷レイアウトの設定、印刷方法、グラフの作成
第9回	【表計算(3/5)】 さまざまな関数の活用
第10回	【コンピュータの基礎】 コンピュータの構成、オペレーティングシステムの基礎
第11回	【表計算(4/5)】 複数シートの操作、データベースの操作
第12回	【表計算(5/5)】 高度なグラフの作成、ピボットテーブルの作成
第13回	【ネットワークの基礎】 ネットワークの構成、インターネットの基礎、クラウド
第14回	【ネットワーク利用と情報の検索】 WWW、情報の検索、著作権
第15回	【総合演習】 授業の振り返り
第16回	【定期試験】



学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修, 自由 / required, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190582001009	科目番号 / Course code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Course title	情報基礎(E(情4)) / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
科目分類 / Course Category	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他, 大学院科目[構造]		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	ICT基盤センターセミナールーム		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(情4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sigh_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6F 631		
担当教員TEL/Tel	095-820-6372		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義時間前後、および、sigh@nagasaki-u.ac.jp にて受け付けています。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>【授業の概要】</p> <p>情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)は生活する上での「生きる力」の一つとなっています。大学での学びにおいては、パソコンやネットワークを学術的な情報活用のための道具として不自由なく扱えるためのスキルと能力が必要不可欠となります。そこで、長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎力として、情報リテラシーを1年次に身につけることとしています。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身につけるとともに、さまざまな情報システムやソフトウェアの活用技術を習得します。授業は、講義と演習を組み合わせを進めます。講義内容を確実に理解するために、パソコンの操作演習の課題に加え、授業時間内外に取り組むレポート課題や自習課題を課します。講義では、主体的学習促進支援システム(LACS)を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用します。</p> <p>【授業の位置づけ】</p> <p>本科目は教養教育における情報科学科目です。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>情報端末やネットワークを適切に用いて、情報及び情報技術を正しく扱える情報リテラシーを身につけることを到達目標とします。</p> <p>この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できるようになる</li> <li>・情報、情報機器、やネットワークを利用する際の倫理やセキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できるようになる</li> <li>・インターネット(Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算についての基本を理解し、操作方法や活用方法を説明できるようになる</li> <li>・情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集、分析、活用できるようになる</li> <li>・自身のノートパソコンについて、基本的なセットアップ作業や大学の提供するネットワーク環境への接続を通じて、活用できるようになる</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>定期試験 30% コンピュータの動作原理、情報を扱う上で必要となる倫理観等が実際に理解できているかを筆記式の試験で確認します。</p> <p>演習課題 60% 機器操作を伴う課題への取り組みや完成状況を基に判断します。</p> <p>授業への参加状況 10% なお、作業指示に従わない場合や演習妨害等の行為は減点として扱います。</p>		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	文書作成、表計算、プレゼンテーションにおいては、予習として、指示された内容を教科書に沿って実行し、成果物をLACS上で提出してください。復習課題等については、授業中に別途指示します。 情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり、情報のデジタル化、コンピュータの基礎、ネットワークの基礎、ネットワーク利用と情報の検索においては、予習として、指示された教科書の内容について熟読してください。復習課題等については、授業中に別途指示します。
キーワード/Keywords	情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会
教科書・教材・参考書/Materials	教科書： 「情報基礎」（生協のみで購入可能。一般の書店では入手できないので注意して下さい）。 上繁義史、「情報基礎 はじめて学ぶICTの世界」, 培風館, 2016年, ISBN978-4-563-01593-0 教材：必要に応じて、資料や課題などをLACSにて公開します。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	Windows 10及びMS-Office Professional / Home&Business 2016以降がインストールされたノートPC、及びACアダプタを毎回必ず持参してください。 上記のMS-Office製品がインストールされていない場合、本学が無償提供するOffice 365 ProPlusをインストールしてください。 再履修者は大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講してください。 <a href="http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/H30/31pc-model.pdf">http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/H30/31pc-model.pdf</a>
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	<a href="https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/">https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/</a>
学生へのメッセージ/Message for students	コンピュータの操作に慣れていない場合は、毎日少しの時間でもキーボードに触れる時間をとることが望まれます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	鈴木 斉/ソフトウェア開発系企業での勤務経験/ソフトウェア開発系企業での勤務経験を有する教員がコンピュータに関する基本的な原理や情報に関する基礎理論について解説する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第01回 4月 9日	【ガイダンス】 授業の概要及び大学のICTシステムの説明、無線LAN接続、LACSの基本操作実習、電子メールの操作実習 必ずノートパソコンを持参すること。
第02回 4月16日	【PCとLACSの活用】 LACS紹介と操作実習、電子メール利用実習、Office365セットアップ Microsoft Wordの基礎、Microsoft Excelの基礎、Microsoft PowerPointの基礎 必ずノートパソコンを持参すること。
第03回 4月16日	【情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり】 (情報セキュリティ関連) 情報セキュリティの定義、個人・組織がとるべきセキュリティ対策、ICTに関するストレス対策 (情報倫理、法律関連) 情報倫理、ネチケット、個人情報保護など 通常の授業時間と異なる日程で、情報セキュリティに関する特別授業形式で行います。 日時：4月16日(火) 第5校時 場所：中部講堂 多文化・教育・経済学部合同で行います。
第04回 5月 7日	【コンピュータとネットワークの基礎1】 コンピュータの構成、オペレーティングシステムの基礎、ネットワークの構成、インターネットの基礎、クラウド
第05回 5月14日	【プレゼンテーション1/2】 プレゼンテーションの構成変更、動作設定、印刷
第06回 5月21日	【表計算1/4】 Microsoft Excelの基礎、基本操作、データ・数式・関数の入力、セルの参照、表の書式設定
第07回 5月28日	【表計算2/4】 表の印刷レイアウトの設定、印刷方法、グラフの作成、データの検索、複数シートを使ったデータ処理
第08回 6月 4日	【表計算3/4】 関数、表示形式設定、条件付き書式、高度なグラフの作成
第09回 6月11日	【表計算4/4】 ピボットテーブル、データベースの活用、マクロ活用

第10回 6月18日	【情報のデジタル化】 情報のデジタル化とは、文字・音声・画像のデジタル化
第11回 6月25日	【文書作成1/2】 Microsoft Wordの操作、文字・段落の書式、オブジェクトの操作、表の作成、数式の作成
第12回 7月 2日	【文書作成2/2】 ページの設定、印刷方法、ワードアート挿入、スタイルの設定
第13回 7月 9日	【コンピュータとネットワークの基礎2】 コンピュータの構成、オペレーティングシステムの基礎、ネットワークの構成、インターネットの基礎、クラウド
第14回 7月23日	【プレゼンテーション2/2】 別アプリのデータ利用、共通デザインの設定
第15回 7月30日	【総合演習】授業の振り返り
第16回	【定期試験】まとめ、試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修, 自由 / required, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190582001010	科目番号 / Course code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Course title	情報基礎(F情2) / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
科目分類 / Course Category	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他, 大学院科目[構造]		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	水産学部1年 (F情2クラス)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-niwa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火 9:00-11:00 (事前にメール等で教員と時間調整を行うこと)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p><b>【授業の概要】</b>          情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)が生活する上での「生きる力」の一つとなっている。大学での学びにおいては、パソコンやネットワークを学術的な情報活用のためのツールとして不自由なく扱えるためのスキルと能力が必要不可欠である。そこで、長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎力として、情報リテラシーを1年次で身につけることとしている。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身につけるとともに、さまざまな情報システムやソフトウェアの活用技術を習得する。授業は、講義と演習を組み合わせる。講義の内容を確実に理解させるため、パソコンの操作演習の課題に加え、授業時間内外に取り組みレポート課題や自習課題を出す。主体的学習促進支援システム(LACS)を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用する。</p> <p><b>【授業の位置づけ】</b>          本科目は教養教育における情報科学科目である。</p>		
授業到達目標/Course goals	情報端末やネットワークを適切に用いて、情報及び情報技術を正しく扱える情報リテラシーを身につけることを到達目標とする。 この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げる。 (1) 情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できるようになる (2) 情報、情報機器、やネットワークを利用する際の倫理やセキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できるようになる (3) インターネット(Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算についての基本を理解し、操作方法や活用方法を説明できるようになる (4) 情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集、分析、活用できるようになる (5) 自身のノートパソコンについて、基本的なセットアップ作業や大学の提供するネットワーク環境への接続を通じて、利用できるようになる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題等の提出物及び小テスト70%、定期試験30%として、総合的に評価を行う予定。課された課題を全て提出しない場合、定期試験の得点に関係なく、不合格となることがあるので注意すること。 原則として全回出席を前提とする。ただし、やむを得ず正当な理由で欠席する場合は担当教員に連絡すること。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	文書作成、表計算、プレゼンテーションにおいては、予習として、指示された内容について、教科書に沿って実行し、成果物をLACS上で提出すること。復習課題等については、授業中に別途指示する。 情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり、情報のデジタル化、コンピュータの基礎、ネットワークの基礎、ネットワーク利用と情報の検索においては、予習として、指示された教科書の内容について熟読すること。復習課題等については、授業中に別途指示する。
キーワード/Keywords	情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：「情報基礎」(生協のみで購入可能。一般の書店では入手できないので注意) 上繁義史、「情報基礎 はじめて学ぶICTの世界」、培風館、2016年 教材：必要に応じて、資料や課題などをLACSにアップする。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	Windows 10/8.1及びMS-Office Professional/Home&Business 2013以降がインストールされたノートPC及びACアダプタを毎回必ず持参すること。 上記のMS-Office製品がインストールされていない場合、本学が無償提供するOffice 365 ProPlusをインストールすること。 再履修者も大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講すること。 <a href="http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/H29/30pc-model.pdf">http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/H29/30pc-model.pdf</a>
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	<a href="https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/">https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/</a>
学生へのメッセージ/Message for students	本科目では、予習を前提とした授業を進めるので、各自が積極的に学習に取り組むよう望む。なお、理解状況によって、各回の授業の進捗の調整や順序の変更等を行うことがある。各自が所有するノートパソコンの活用法を十二分に習得してもらいたい。 初回授業からノートパソコンを利用するので、セットアップした上で必ず持参すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	実務家教員名：丹羽量久 【実務経験内容】 社会基盤構造物の設計・製作に関する線形/非線形構造解析のコンサルテーションおよび技術営業業務、橋梁の自動設計システムのうち変形・応力を計算するソフトウェア群の開発、科学技術やWebに関わるITシステム構築の提案を行う営業業務、既存業務以外の分野における新規事業の開拓・事業化、および関係部署のマネージャーとしての年度計画の立案・数値の管理・統制等の業務。 【実務経験に基づく教育内容】 コンピュータやインターネットに関わるときに注意すべきことについて、その仕組みや根拠を実務から得た問題点等を加味しながら講義する。また、演習の際は、周りとのコミュニケーションを取りながら、わからないことを解決していく経験を積ませる。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	【ガイダンス】 授業の概要及び大学のICTシステムの説明、無線LAN接続 必ずノートパソコンを持参すること。
第2回	【PCとLACSの活用】 LACSの機能の紹介と操作実習、電子メールの操作実習
第3回	【情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり】 (情報セキュリティ関連)情報セキュリティの定義、個人・組織がとるべきセキュリティ対策、ICTに関するストレス対策 (情報倫理、法律関連)情報倫理、ネチケット、個人情報保護など 次の日程で、授業時間以外に情報セキュリティに関する特別授業を行うので、クラスごとに指定された日時に必ず出席すること。 日時：4月15日(月) 第5校時 もしくは 4月16日(火) 第5校時(多文化・教育・経済・水産) 4月18日(木) 第5校時 もしくは 4月19日(金) 第5校時(医学・歯学・薬学・工学・環境科学) 場所：中部講堂
第4回	【表計算(1/4)】 Microsoft Excelの基礎、データ・数式・関数の入力、表の書式設定、セルの参照
第5回	【表計算(2/4)】 表の印刷レイアウトの設定、印刷方法、グラフの作成
第6回	【情報のデジタル化】 デジタル化の意味、数字・文字・音声・画像のデジタル化

第7回	【表計算(3/4)】 さまざまな関数の活用
第8回	【表計算(4/4)】 複数シートの操作、データベースの操作
第9回	【コンピュータの基礎】 コンピュータの構成、オペレーティングシステムの基礎
第10回	【文書作成(1/2)】 Microsoft Wordの基礎、文字と段落の書式、オブジェクトの操作、表の作成、数式の作成
第11回	【文書作成(2/2)】 ページ設定、印刷方法、ページ罫線、ワードアート挿入、スタイルの設定
第12回	【プレゼンテーション】 Microsoft PowerPointの基礎、資料作成上の留意点、プレゼンテーションの作成、アニメーション等の効果の活用等
第13回	【ネットワークの基礎】 ネットワークの構成、インターネットの基礎、クラウド
第14回	【ネットワーク利用と情報の検索】 WWW、情報の検索、著作権
第15回	【総合演習】 授業の振り返り
第16回	【定期試験】

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	必修, 自由 / required, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190582001011	科目番号 / Course code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Course title	情報基礎(L(情1)) / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
科目分類 / Course Category	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他, 大学院科目[構造]		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年 (L情1クラス)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-niwa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火 9:00-11:00 (事前にメール等で教員と時間調整を行うこと)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p><b>【授業の概要】</b>          情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)が生活する上での「生きる力」の一つとなっている。大学での学びにおいては、パソコンやネットワークを学術的な情報活用のためのツールとして不自由なく扱えるためのスキルと能力が必要不可欠である。そこで、長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎力として、情報リテラシーを1年次で身につけることとしている。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身につけるとともに、さまざまな情報システムやソフトウェアの活用技術を習得する。授業は、講義と演習を組み合わせる。講義の内容を確実に理解させるため、パソコンの操作演習の課題に加え、授業時間内外に取り組みレポート課題や自習課題を出す。主体的学習促進支援システム(LACS)を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用する。</p> <p><b>【授業の位置づけ】</b>          本科目は教養教育における情報科学科目である。</p>		
授業到達目標/Course goals	情報端末やネットワークを適切に用いて、情報及び情報技術を正しく扱える情報リテラシーを身につけることを到達目標とする。 この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げる。 (1) 情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できるようになる (2) 情報、情報機器、やネットワークを利用する際の倫理やセキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できるようになる (3) インターネット(Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算についての基本を理解し、操作方法や活用方法を説明できるようになる (4) 情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集、分析、活用できるようになる (5) 自身のノートパソコンについて、基本的なセットアップ作業や大学の提供するネットワーク環境への接続を通じて、利用できるようになる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題等の提出物及び小テスト70%、定期試験30%として、総合的に評価を行う予定。課された課題を全て提出しない場合、定期試験の得点に関係なく、不合格となることがあるので注意すること。 原則として全回出席を前提とする。ただし、やむを得ず正当な理由で欠席する場合は担当教員に連絡すること。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	文書作成、表計算、プレゼンテーションにおいては、予習として、指示された内容について、教科書に沿って実行し、成果物をLACS上で提出すること。復習課題等については、授業中に別途指示する。 情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり、情報のデジタル化、コンピュータの基礎、ネットワークの基礎、ネットワーク利用と情報の検索においては、予習として、指示された教科書の内容について熟読すること。復習課題等については、授業中に別途指示する。
キーワード/Keywords	情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：「情報基礎」(生協のみで購入可能。一般の書店では入手できないので注意) 上繁義史、「情報基礎 はじめて学ぶICTの世界」、培風館、2016年 教材：必要に応じて、資料や課題などをLACSにアップする。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	Windows 10/8.1及びMS-Office Professional/Home&Business 2013以降がインストールされたノートPC及びACアダプタを毎回必ず持参すること。 上記のMS-Office製品がインストールされていない場合、本学が無償提供するOffice 365 ProPlusをインストールすること。 再履修者も大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講すること。 <a href="http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/H29/30pc-model.pdf">http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/H29/30pc-model.pdf</a>
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	<a href="https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/">https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/</a>
学生へのメッセージ/Message for students	本科目では、予習を前提とした授業を進めるので、各自が積極的に学習に取り組むよう望む。なお、理解状況によって、各回の授業の進捗の調整や順序の変更等を行うことがある。各自が所有するノートパソコンの活用法を十二分に習得してもらいたい。 初回授業からノートパソコンを利用するので、セットアップした上で必ず持参すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	実務家教員名：丹羽量久 【実務経験内容】 社会基盤構造物の設計・製作に関する線形/非線形構造解析のコンサルテーションおよび技術営業業務、橋梁の自動設計システムのうち変形・応力を計算するソフトウェア群の開発、科学技術やWebに関わるITシステム構築の提案を行う営業業務、既存業務以外の分野における新規事業の開拓・事業化、および関係部署のマネージャーとしての年度計画の立案・数値の管理・統制等の業務。 【実務経験に基づく教育内容】 コンピュータやインターネットに関わるときに注意すべきことについて、その仕組みや根拠を実務から得た問題点等を加味しながら講義する。また、演習の際は、周りとのコミュニケーションを取りながら、わからないことを解決していく経験を積ませる。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	【ガイダンス】 授業の概要及び大学のICTシステムの説明、無線LAN接続 必ずノートパソコンを持参すること。
第2回	【PCとLACSの活用】 LACSの機能の紹介と操作実習、電子メールの操作実習
第3回	【情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり】 (情報セキュリティ関連)情報セキュリティの定義、個人・組織がとるべきセキュリティ対策、ICTに関するストレス対策 (情報倫理、法律関連)情報倫理、ネチケット、個人情報保護など 次の日程で、授業時間以外に情報セキュリティに関する特別授業を行うので、クラスごとに指定された日時に必ず出席すること。 日時：4月15日(月) 第5校時 もしくは 4月16日(火) 第5校時(多文化・教育・経済・水産) 4月18日(木) 第5校時 もしくは 4月19日(金) 第5校時(医学・歯学・薬学・工学・環境科学) 場所：中部講堂
第4回	【表計算(1/4)】 Microsoft Excelの基礎、データ・数式・関数の入力、表の書式設定、セルの参照
第5回	【表計算(2/4)】 表の印刷レイアウトの設定、印刷方法、グラフの作成
第6回	【情報のデジタル化】 デジタル化の意味、数字・文字・音声・画像のデジタル化



第7回	【表計算(3/4)】 さまざまな関数の活用
第8回	【表計算(4/4)】 複数シートの操作、データベースの操作
第9回	【コンピュータの基礎】 コンピュータの構成、オペレーティングシステムの基礎
第10回	【文書作成(1/2)】 Microsoft Wordの基礎、文字と段落の書式、オブジェクトの操作、表の作成、数式の作成
第11回	【文書作成(2/2)】 ページ設定、印刷方法、ページ罫線、ワードアート挿入、スタイルの設定
第12回	【プレゼンテーション】 Microsoft PowerPointの基礎、資料作成上の留意点、プレゼンテーションの作成、アニメーション等の効果の活用等
第13回	【ネットワークの基礎】 ネットワークの構成、インターネットの基礎、クラウド
第14回	【ネットワーク利用と情報の検索】 WWW、情報の検索、著作権
第15回	【総合演習】 授業の振り返り
第16回	【定期試験】

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	必修, 自由 / required, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190582001012	科目番号 / Course code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Course title	情報基礎(L(情3)) / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi		
科目分類 / Course Category	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他, 大学院科目[構造]		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	ICT基盤センターセミナールーム		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生(L(情3)クラス)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yueshige nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2254		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月5(事前にメール等で教員と時間調整を行うこと)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p><b>【授業の概要】</b>  情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)が生活する上での「生きる力」の一つとなっている。大学での学びにおいては、パソコンやネットワークを学術的な情報活用のためのツールとして不自由なく扱えるためのスキルと能力が必要不可欠である。そこで、長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎力として、情報リテラシーを1年次で身につけることとしている。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身につけるとともに、さまざまな情報システムやソフトウェアの活用技術を習得する。授業は、講義と演習を組み合わせる。講義の内容を確実に理解させるため、パソコンの操作演習の課題に加え、授業時間内外に取り組みレポート課題や自習課題を出す。主体的学習促進支援システム(LACS)を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用する。</p> <p><b>【授業の位置づけ】</b>  本科目は教養教育における情報科学科目である。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>情報端末やネットワークを適切に用いて、情報及び情報技術を正しく扱える情報リテラシーを身につけることを到達目標とする。</p> <p>この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できるようになる</li> <li>(2) 情報、情報機器、やネットワークを利用する際の倫理やセキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できるようになる</li> <li>(3) インターネット(Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算についての基本を理解し、操作方法や活用方法を説明できるようになる</li> <li>(4) 情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集、分析、活用できるようになる</li> <li>(5) 自身のノートパソコンについて、基本的なセットアップ作業や大学の提供するネットワーク環境への接続を通じて、利用できるようになる</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br/&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br/&gt; Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br/&gt; Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br/&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br/&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br/&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題等の提出物及び小テスト70%、定期試験30%として、総合的に評価を行う予定。課された課題を全て提出しない場合、定期試験の得点に関係なく、不合格となることがあるので注意すること。 原則として全回出席を前提とする。ただし、やむを得ず正当な理由で欠席する場合は担当教員に連絡すること。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	文書作成、表計算、プレゼンテーションにおいては、予習として、指示された内容について、教科書に沿って実行し、成果物をLACS上で提出すること。復習課題等については、授業中に別途指示する。 情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり、情報のデジタル化、コンピュータの基礎、ネットワークの基礎、ネットワーク利用と情報の検索においては、予習として、指示された教科書の内容について熟読すること。復習課題等については、授業中に別途指示する。
キーワード/Keywords	情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：「情報基礎」(生協のみで購入可能。一般の書店では入手できないので注意) 上繁義史、「情報基礎 はじめて学ぶICTの世界」、培風館、2016年 教材：必要に応じて、資料や課題などをLACSにアップする。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	Windows 10及びMS-Office Professional/Home&Business 2016以降がインストールされたノートPC及びACアダプタを毎回必ず持参すること。 上記のMS-Office製品がインストールされていない場合、本学が無償提供するOffice 365 ProPlusをインストールすること。 再履修者も大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講すること。 <a href="http://www.cc.nagasaki-u.ac.jp/service/essential_pc/variety_purchase.html">http://www.cc.nagasaki-u.ac.jp/service/essential_pc/variety_purchase.html</a>
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	<a href="https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/">https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/</a>
学生へのメッセージ/Message for students	本科目では、予習を前提とした授業を進めるので、各自が積極的に学習に取り組むよう望む。なお、理解状況によって、各回の授業の進度の調整や順序の変更等を行うことがある。 各自が所有するノートパソコンの活用法を十二分に習得してほしい。 初回授業からノートパソコンを利用するので、セットアップした上で必ず持参すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	上繁 義史 / 財団法人北九州産業学術推進機構、財団法人九州システム情報技術研究所にて、研究員としてIT関連技術の研究に従事/コンピュータの構成要素や基本操作などの技術、情報セキュリティや情報倫理などの話題について講義・演習を行う。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	【ガイダンス】 授業の概要及び大学のICTシステムの説明、無線LAN接続 必ずノートパソコンを持参すること。
第2回	【PCとLACSの活用】 LACSの機能の紹介と操作実習, 電子メールの操作実習
第3回	【情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり】 (情報セキュリティ関連)情報セキュリティの定義、個人・組織がとるべきセキュリティ対策、ICTに関するストレス対策 (情報倫理、法律関連)情報倫理、ネチケット、個人情報保護など 次の日程で、授業時間以外に情報セキュリティに関する特別授業を行うので、クラスごとに指定された日時に必ず出席すること。 日時：4月15日(月)と16日(火)のうち、初年次セミナーが開講されていない日の5校時 (上位年次生は4月15日、16日、18日、19日のいずれの回にも出席しても良い) 場所：中部講堂
第4回	【表計算(1/4)】 Microsoft Excelの基礎、データ・数式・関数の入力、表の書式設定、セルの参照
第5回	【表計算(2/4)】 表の印刷レイアウトの設定、印刷方法、グラフの作成
第6回	【情報のデジタル化】 デジタル化の意味、数字・文字・音声・画像のデジタル化
第7回	【表計算(3/4)】 さまざまな関数の活用
第8回	【表計算(4/4)】 複数シートの操作、データベースの操作

第9回	【コンピュータの基礎】 コンピュータの構成、オペレーティングシステムの基礎
第10回	【文書作成(1/2)】 Microsoft Wordの基礎、文字と段落の書式、オブジェクトの操作、表の作成、数式の作成
第11回	【文書作成(2/2)】 ページ設定、印刷方法、ページ罫線、ワードアート挿入、スタイルの設定
第12回	【プレゼンテーション】 Microsoft PowerPointの基礎、資料作成上の留意点、プレゼンテーションの作成、アニメーション等の効果の活用等
第13回	【ネットワークの基礎】 ネットワークの構成、インターネットの基礎、クラウド
第14回	【ネットワーク利用と情報の検索】 WWW、情報の検索、著作権
第15回	【総合演習】 授業の振り返り
第16回	【定期試験】

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	必修, 自由 / required, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190582001013	科目番号 / Course code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Course title	情報基礎(L(情2)) / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
科目分類 / Course Category	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他, 大学院科目[構造]		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年 (L情2クラス)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-niwa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火 9:00-11:00 (事前にメール等で教員と時間調整を行うこと)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p><b>【授業の概要】</b>  情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)が生活する上での「生きる力」の一つとなっている。大学での学びにおいては、パソコンやネットワークを学術的な情報活用のためのツールとして不自由なく扱えるためのスキルと能力が必要不可欠である。そこで、長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎力として、情報リテラシーを1年次で身につけることとしている。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身につけるとともに、さまざまな情報システムやソフトウェアの活用技術を習得する。授業は、講義と演習を組み合わせる。講義の内容を確実に理解させるため、パソコンの操作演習の課題に加え、授業時間内外に取り組みレポート課題や自習課題を出す。主体的学習促進支援システム(LACS)を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用する。</p> <p><b>【授業の位置づけ】</b>  本科目は教養教育における情報科学科目である。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>情報端末やネットワークを適切に用いて、情報及び情報技術を正しく扱える情報リテラシーを身につけることを到達目標とする。</p> <p>この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できるようになる</li> <li>(2) 情報、情報機器、やネットワークを利用する際の倫理やセキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できるようになる</li> <li>(3) インターネット(Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算についての基本を理解し、操作方法や活用方法を説明できるようになる</li> <li>(4) 情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集、分析、活用できるようになる</li> <li>(5) 自身のノートパソコンについて、基本的なセットアップ作業や大学の提供するネットワーク環境への接続を通じて、利用できるようになる</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br/&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br/&gt; Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br/&gt; Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br/&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br/&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br/&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題等の提出物及び小テスト70%、定期試験30%として、総合的に評価を行う予定。課された課題を全て提出しない場合、定期試験の得点に関係なく、不合格となることがあるので注意すること。 原則として全回出席を前提とする。ただし、やむを得ず正当な理由で欠席する場合は担当教員に連絡すること。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	文書作成、表計算、プレゼンテーションにおいては、予習として、指示された内容について、教科書に沿って実行し、成果物をLACS上で提出すること。復習課題等については、授業中に別途指示する。 情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり、情報のデジタル化、コンピュータの基礎、ネットワークの基礎、ネットワーク利用と情報の検索においては、予習として、指示された教科書の内容について熟読すること。復習課題等については、授業中に別途指示する。
キーワード/Keywords	情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：「情報基礎」(生協のみで購入可能。一般の書店では入手できないので注意) 上繁義史、「情報基礎 はじめて学ぶICTの世界」、培風館、2016年 教材：必要に応じて、資料や課題などをLACSにアップする。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	Windows 10/8.1及びMS-Office Professional/Home&Business 2013以降がインストールされたノートPC及びACアダプタを毎回必ず持参すること。 上記のMS-Office製品がインストールされていない場合、本学が無償提供するOffice 365 ProPlusをインストールすること。 再履修者も大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講すること。 <a href="http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/H29/30pc-model.pdf">http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/H29/30pc-model.pdf</a>
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	<a href="https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/">https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/</a>
学生へのメッセージ/Message for students	本科目では、予習を前提とした授業を進めるので、各自が積極的に学習に取り組むよう望む。なお、理解状況によって、各回の授業の進捗の調整や順序の変更等を行うことがある。各自が所有するノートパソコンの活用法を十二分に習得してもらいたい。 初回授業からノートパソコンを利用するので、セットアップした上で必ず持参すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	実務家教員名：丹羽量久 【実務経験内容】 社会基盤構造物の設計・製作に関する線形/非線形構造解析のコンサルテーションおよび技術営業業務、橋梁の自動設計システムのうち変形・応力を計算するソフトウェア群の開発、科学技術やWebに関わるITシステム構築の提案を行う営業業務、既存業務以外の分野における新規事業の開拓・事業化、および関係部署のマネージャーとしての年度計画の立案・数値の管理・統制等の業務。 【実務経験に基づく教育内容】 コンピュータやインターネットに関わるときに注意すべきことについて、その仕組みや根拠を実務から得た問題点等を加味しながら講義する。また、演習の際は、周りとのコミュニケーションを取りながら、わからないことを解決していく経験を積ませる。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	【ガイダンス】 授業の概要及び大学のICTシステムの説明、無線LAN接続 必ずノートパソコンを持参すること。
第2回	【PCとLACSの活用】 LACSの機能の紹介と操作実習、電子メールの操作実習
第3回	【情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり】 (情報セキュリティ関連)情報セキュリティの定義、個人・組織がとるべきセキュリティ対策、ICTに関するストレス対策 (情報倫理、法律関連)情報倫理、ネチケット、個人情報保護など 次の日程で、授業時間以外に情報セキュリティに関する特別授業を行うので、クラスごとに指定された日時に必ず出席すること。 日時：4月15日(月) 第5校時 もしくは 4月16日(火) 第5校時(多文化・教育・経済・水産) 4月18日(木) 第5校時 もしくは 4月19日(金) 第5校時(医学・歯学・薬学・工学・環境科学) 場所：中部講堂
第4回	【表計算(1/4)】 Microsoft Excelの基礎、データ・数式・関数の入力、表の書式設定、セルの参照
第5回	【表計算(2/4)】 表の印刷レイアウトの設定、印刷方法、グラフの作成
第6回	【情報のデジタル化】 デジタル化の意味、数字・文字・音声・画像のデジタル化

第7回	【表計算(3/4)】 さまざまな関数の活用
第8回	【表計算(4/4)】 複数シートの操作、データベースの操作
第9回	【コンピュータの基礎】 コンピュータの構成、オペレーティングシステムの基礎
第10回	【文書作成(1/2)】 Microsoft Wordの基礎、文字と段落の書式、オブジェクトの操作、表の作成、数式の作成
第11回	【文書作成(2/2)】 ページ設定、印刷方法、ページ罫線、ワードアート挿入、スタイルの設定
第12回	【プレゼンテーション】 Microsoft PowerPointの基礎、資料作成上の留意点、プレゼンテーションの作成、アニメーション等の効果の活用等
第13回	【ネットワークの基礎】 ネットワークの構成、インターネットの基礎、クラウド
第14回	【ネットワーク利用と情報の検索】 WWW、情報の検索、著作権
第15回	【総合演習】 授業の振り返り
第16回	【定期試験】

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	必修, 自由 / required, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190582001014	科目番号 / Course code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Course title	情報基礎(K(情2)) / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi		
科目分類 / Course Category	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他, 大学院科目[構造]		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	ICT基盤センターセミナールーム		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	環境科学部1年生 (K (情2) クラス)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yueshige nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2254		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月5 (事前にメール等で教員と時間調整を行うこと)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p><b>【授業の概要】</b>          情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)が生活する上での「生きる力」の一つとなっている。大学での学びにおいては、パソコンやネットワークを学術的な情報活用のためのツールとして不自由なく扱えるためのスキルと能力が必要不可欠である。そこで、長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎力として、情報リテラシーを1年次で身につけることとしている。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身につけるとともに、さまざまな情報システムやソフトウェアの活用技術を習得する。授業は、講義と演習を組み合わせる。講義の内容を確実に理解させるため、パソコンの操作演習の課題に加え、授業時間内外に取り組みレポート課題や自習課題を出す。主体的学習促進支援システム(LACS)を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用する。</p> <p><b>【授業の位置づけ】</b>          本科目は教養教育における情報科学科目である。</p>		
授業到達目標/Course goals	情報端末やネットワークを適切に用いて、情報及び情報技術を正しく扱える情報リテラシーを身につけることを到達目標とする。 この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げる。 (1) 情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できるようになる (2) 情報、情報機器、やネットワークを利用する際の倫理やセキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できるようになる (3) インターネット(Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算についての基本を理解し、操作方法や活用方法を説明できるようになる (4) 情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集、分析、活用できるようになる (5) 自身のノートパソコンについて、基本的なセットアップ作業や大学の提供するネットワーク環境への接続を通じて、利用できるようになる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		



成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題等の提出物及び小テスト70%、定期試験30%として、総合的に評価を行う予定。課された課題を全て提出しない場合、定期試験の得点に関係なく、不合格となることがあるので注意すること。 原則として全回出席を前提とする。ただし、やむを得ず正当な理由で欠席する場合は担当教員に連絡すること。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	文書作成、表計算、プレゼンテーションにおいては、予習として、指示された内容について、教科書に沿って実行し、成果物をLACS上で提出すること。復習課題等については、授業中に別途指示する。 情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり、情報のデジタル化、コンピュータの基礎、ネットワークの基礎、ネットワーク利用と情報の検索においては、予習として、指示された教科書の内容について熟読すること。復習課題等については、授業中に別途指示する。
キーワード/Keywords	情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：「情報基礎」(生協のみで購入可能。一般の書店では入手できないので注意) 上繁義史、「情報基礎 はじめて学ぶICTの世界」、培風館、2016年 教材：必要に応じて、資料や課題などをLACSにアップする。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	Windows 10及びMS-Office Professional/Home&Business 2016以降がインストールされたノートPC及びACアダプタを毎回必ず持参すること。 上記のMS-Office製品がインストールされていない場合、本学が無償提供するOffice 365 ProPlusをインストールすること。 再履修者も大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講すること。 <a href="http://www.cc.nagasaki-u.ac.jp/service/essential_pc/variety_purchase.html">http://www.cc.nagasaki-u.ac.jp/service/essential_pc/variety_purchase.html</a>
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	<a href="https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/">https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/</a>
学生へのメッセージ/Message for students	本科目では、予習を前提とした授業を進めるので、各自が積極的に学習に取り組むよう望む。なお、理解状況によって、各回の授業の進度の調整や順序の変更等を行うことがある。 各自が所有するノートパソコンの活用法を十二分に習得してもらいたい。 初回授業からノートパソコンを利用するので、セットアップした上で必ず持参すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	上繁 義史 / 財団法人北九州産業学術推進機構、財団法人九州システム情報技術研究所にて、研究員としてIT関連技術の研究に従事/コンピュータの構成要素や基本操作などの技術、情報セキュリティや情報倫理などの話題について講義・演習を行う。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	【ガイダンス】 授業の概要及び大学のICTシステムの説明、無線LAN接続 必ずノートパソコンを持参すること。
第2回	【PCとLACSの活用】 LACSの機能の紹介と操作実習,電子メールの操作実習
第3回	【情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり】 (情報セキュリティ関連)情報セキュリティの定義、個人・組織がとるべきセキュリティ対策、ICTに関するストレス対策 (情報倫理、法律関連)情報倫理、ネチケット、個人情報保護など 次の日程で、授業時間以外に情報セキュリティに関する特別授業を行うので、クラスごとに指定された日時に必ず出席すること。 日時：4月19日(金)5校時 (上位年次生は4月15日、16日、18日、19日のいずれの回に出席しても良い) 場所：中部講堂
第4回	【表計算(1/4)】 Microsoft Excelの基礎、データ・数式・関数の入力、表の書式設定、セルの参照
第5回	【表計算(2/4)】 表の印刷レイアウトの設定、印刷方法、グラフの作成
第6回	【情報のデジタル化】 デジタル化の意味、数字・文字・音声・画像のデジタル化
第7回	【表計算(3/4)】 さまざまな関数の活用
第8回	【表計算(4/4)】 複数シートの操作、データベースの操作

第9回	【コンピュータの基礎】 コンピュータの構成、オペレーティングシステムの基礎
第10回	【文書作成(1/2)】 Microsoft Wordの基礎、文字と段落の書式、オブジェクトの操作、表の作成、数式の作成
第11回	【文書作成(2/2)】 ページ設定、印刷方法、ページ罫線、ワードアート挿入、スタイルの設定
第12回	【プレゼンテーション】 Microsoft PowerPointの基礎、資料作成上の留意点、プレゼンテーションの作成、アニメーション等の効果の活用等
第13回	【ネットワークの基礎】 ネットワークの構成、インターネットの基礎、クラウド
第14回	【ネットワーク利用と情報の検索】 WWW、情報の検索、著作権
第15回	【総合演習】 授業の振り返り
第16回	【定期試験】

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	必修, 自由 / required, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190582001015	科目番号 / Course code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Course title	情報基礎(L(情4)) / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	柳生 大輔 / Yagyu Daisuke		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	柳生 大輔 / Yagyu Daisuke		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	柳生 大輔 / Yagyu Daisuke		
科目分類 / Course Category	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他, 大学院科目[構造]		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	L(情4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	d-yagyu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター 2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2220		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16:10-17:30 / LACS, 電子メール等による質問等は随時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>【授業の概要】</p> <p>情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)が生活する上での「生きる力」の一つとなっている。大学での学びにおいては、パソコンやネットワークを学術的な情報活用のためのツールとして不自由なく扱えるためのスキルと能力が必要不可欠である。そこで、長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎力として、情報リテラシーを1年次で身につけることとしている。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身につけるとともに、さまざまな情報システムやソフトウェアの活用技術を習得する。授業は、講義と演習を組み合わせる。講義の内容を確実に理解させるため、パソコンの操作演習の課題に加え、授業時間内外に取り組む課題、小テスト、総合課題(予稿・プレゼンテーション作成・発表)を課す。主体的学習促進支援システム(LACS)を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用する。</p> <p>【授業の位置づけ】</p> <p>本科目は教養教育における情報科学科目である。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>情報端末やネットワークを適切に用いて、情報及び情報技術を正しく扱える情報リテラシーを身につけることを到達目標とする。</p> <p>この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げる。</p> <p>(1)情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できるようになる</p> <p>(2)情報、情報機器、ネットワークを利用する際の倫理やセキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できるようになる</p> <p>(3)インターネット(Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算についての基本を理解し、操作方法や活用方法を説明できるようになる</p> <p>(4)情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集、分析、活用できるようになる</p> <p>(5)自信のノートパソコンについて、基本的なセットアップ作業や大学の提供するネットワーク環境への接続を通じて、利用できるようになる</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br/&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br/&gt; Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br/&gt; Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br/&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br/&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br/&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題等の成果物及び小テストを65%、定期試験を35%として、総合的に評価を行う予定。 課題の成果物に未提出が複数ある場合、定期試験の成績に関係なく、不合格と判断する場合があるので留意されたい。 原則として全回出席を前提とする。やむを得ず正当な理由で欠席した場合は欠席届を提出すること（事前の相談が望ましい）。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	情報技術・セキュリティなどの知識の部分に関しては、事前に示す日経パソコンEdu等の授業コンテンツを事前学習していることを前提に、授業開始時に事前理解度テストを行います。 アプリケーションの部分に関しては、手順解説付きの課題について、事前に取り組み成果物を提出してもらいます。授業で解説を行った後、手順の示されていない課題に取り組み成果物を提出してもらいます。
キーワード/Keywords	情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：2冊 (1)FOM出版：情報基礎（長崎大学生協のみで購入可能。一般の書店では入手できないので注意すること）  (2)日経BP社：最新「情報」ハンドブック第2版（及び オンラインサービス「日経パソコンEdu」）：以下のいずれに該当するか十分に確認すること  (a)「日経パソコンedu」のライセンスを保有している場合 新入生が長崎大学生協でPC（長崎大学仕様モデル）を購入した場合、または、別途「Windows 10 & Office 活用読本」を購入した場合が該当 購入すべき書籍：最新「情報」ハンドブック第2版 本体のみ販売分：580円＋消費税 ISBN：978-4-8222-7972-1  (b)「日経パソコンedu」のライセンスを保有していない場合 購入すべき書籍：最新「情報」ハンドブック第2版（日経パソコンEdu 1年間アクセス権付き）（AXIES版）：2,524円＋消費税 ISBN：978-4-2961-0285-3  授業内外で日経パソコンEduのコンテンツも利用します。このためアクセス権が必要になります。今年度長崎大学生協が販売しているパソコン（長崎大学仕様モデル）には、「Windows 10 & Office 活用読本」が付属しています。書籍「Windows 10 & Office 活用読本」には、4年間分の日経パソコンEduのアクセス権が付随しています。したがって、書籍「最新「情報」ハンドブック第2版」本体のみの購入でかまいません。  教材：必要に応じて、資料や課題などをLACSに掲載する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	各入学年次に応じた必携PC基本仕様 に応じたノートPC及びACアダプタを毎回持参すること。  平成31年度新入学生については、OSはWindows 10 Version 1803以降の日本語版、Officeスイートは本学が無償提供するMicrosoft Office 365 ProPlus日本語版。プリインストールされた日本語版Microsoft Office Professional/Home & Business 2016以降もしくは各自で用意したOffice 365 Soloでもよい  再履修者については、入学年次の仕様に準じたもの。ただし、授業及び課題については、新入学生の基準（Windows 10, Microsoft Office 2016以降）で行われることに留意すること。  上記のMicrosoft Office製品がインストールされていない場合（いわゆる互換Officeスイート等）、本学が無償提供するMicrosoft Office 365 ProPlusをインストールすること。  授業では各自のノートPCをそれぞれ利用します。持参しない場合には現実的に授業に参加できません。初回授業からノートパソコンを利用します。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。  アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	<a href="https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/">https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/</a>
学生へのメッセージ/Message for students	本科目では、予習（課題を含む）を前提として授業を進行します。授業時間外・授業時間内を含め、各自が積極的に学習に取り組むよう望みます。  教科書に書いてあることを覚えれば、教科書に書いてあることを手順通りできればよい、という科目ではありません。どんな科目でもそうですが、学んだことを応用できなければ意味がありません。正解や手順は一つでないものもあります。各自のノートPCやITリソースの活用が十二分にできるようになってください。  なお、理解状況によって、各回の授業の進度の調整や順序の変更等を行うことがあります。

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	【ガイダンス】(1/3) 授業の概要及び大学のICTシステムの説明, 無線LAN接続 必ずノートパソコンを持参すること	C
第2回	【ガイダンス】(2/3) PCやOS・アプリケーションの環境設定・確認, LACSの機能の紹介と操 作実習	C
第3回	【ガイダンス】(3/3) LACSの機能の紹介と操作実習(つづき), 電子メールの操作実習 【情報セキュリティ, 情報倫理, 法の関わり】 (情報セキュリティ関連) 情報セキュリティの定義, 個人・組織がと るべきセキュリティ対策, ICTに関するストレス対策 (情報倫理, 法律関連) 情報倫理, ネットワークコミュニケーション の常識, 個人情報保護など  情報セキュリティ関連については, 以下の日程で定例の授業時間以外 に特別授業を行うので, クラスごとに指定された日時に必ず出席するこ と.  日時: 【教育学部】4月15日(月)と16日(火)のうち, 初年次セミナーが 開講されて<いない>日の第5校時 【医学部医学科】4月18日(木)第5校時 【医学部保健学科】4月18日(木)第5校時 場所: 中部講堂	A
第4回	【プレゼンテーション】 Microsoft PowerPointの基礎, 資料作成上の留意点, プレゼンテーシ ョンの作成, アニメーション等の効果の活用等	C
第5回	【ネットワーク利用と情報の検索】 Webと情報検索, 文献の検索, 著作権	A
第6回	【表計算】(1/4) 以下のことについて4回に分けて取り組む Microsoft Excelの基礎, データ・数式・関数の入力, 表の書式設定, セルの参照	C
第7回	【表計算】(2/4) 表の印刷レイアウトの設定, 印刷方法, グラフの作成	C
第8回	【情報のデジタル化】 デジタル化の意味, 数字・文字・音声・画像のデジタル化	A
第9回	【表計算】(3/4) さまざまな関数の活用	C
第10回	【表計算】(4/4) 複数シートの操作, データベースの操作	C
第11回	【コンピュータの基礎】 コンピュータの構成, オペレーティングシステムの基礎	A
第12回	【文書作成】(1/2) 以下のことについて2回に分けて取り組む Microsoft Wordの基礎, 文字と段落の書式, オブジェクトの操作, 表 の作成, 数式の作成	C
第13回	【文書作成】(2/2) ページ設定, 印刷方法, ページ罫線, ワードアート挿入, スタイルの 設定	C
第14回	【ネットワークの基礎】 ネットワークの構成, インターネットの基礎, クラウド	A
第15回	【総合演習】 授業の振り返り, プレゼンテーション実演	A
第16回	【定期試験】	A

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	必修, 自由 / required, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190582001016	科目番号 / Course code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Course title	情報基礎(T(情2)) / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古賀 掲維 / Koga Aoi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	古賀 掲維 / Koga Aoi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	古賀 掲維 / Koga Aoi		
科目分類 / Course Category	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他, 大学院科目[構造]		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	ICT基盤センターセミナールーム		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	工学部1年次(T(情2))		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aoikoga_ms.cc.nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター棟 2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2097		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週木曜日13:00?14:20		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	情報システムおよび各種ソフトウェアに関する知識・技能を身に付け、それを活用できるようになることを目的としている。また、情報システムやネットワークを利用する際に考慮すべき情報セキュリティや情報倫理についても十分な知識を身に付けさせる。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータ(ハードウェア、ソフトウェア)に関する基礎知識を説明できる。</li> <li>・ネットワーク(インターネット等)に関する基礎知識を説明できる。</li> <li>・電子メール、ウェブブラウザを活用できる。</li> <li>・生産性向上ソフト(Word, Excel, PowerPoint等)を活用できる。</li> <li>・情報セキュリティ、情報倫理を考慮して情報システムやネットワークを利用できる。</li> <li>・簡単なプログラムを作成できる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業中課題及び小テスト : 70% 期末課題またはテスト : 30% を予定している。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			

教科書・教材・参考書/Materials	<p>本授業では、『日経パソコンEdu』というオンラインサービスを利用する。 『日経パソコンEdu』のライセンスの保有状況によって、購入すべき教科書が異なるので、十分に注意すること。</p> <p>(1) 『日経パソコンEdu』のライセンスを保有している場合（長崎大学生協でパソコン（長崎大学仕様モデル）と一緒に活用読本を購入している場合） 【購入する書籍】 書籍名：最新「情報」ハンドブック第2版 出版社：日経BP社 ISBN：978-4-8222-7972-1 価格：本体580円＋税</p> <p>(2) 『日経パソコンEdu』のライセンスを保有していない場合 【購入する書籍】 書籍名：最新「情報」ハンドブック第2版（日経パソコンEdu 1年間アクセス権付き） 出版社：日経BP社 ISBN：978-4-2961-0285-3 価格：本体2,524円＋税</p>
受講要件（履修条件）/Prerequisites	<p>Windows 10 および Office 365 ProPlusがインストールされたノートパソコンおよびACアダプタを毎回必ず持参すること。 授業では各自のノートパソコンを用いるので、持参しない場合は授業に参加できないので注意すること。</p> <p>Office 365 ProPlus は本学が無償で提供しますので、購入は不要です。</p>
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回（日時）/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	【ガイダンス1】 イントロダクション、無線LANへの接続、セットアップ状況の確認、LACSの利用方法(1)
第2回	【ガイダンス2】 電子メールの設定、クラウドストレージの設定、LACSの利用方法(2)
第3回	【コンピュータの基礎】 コンピュータの仕組み、OSとアプリケーション、マルチメディア
第4回	【インターネットの基礎】 インターネットの仕組み、電子メールの仕組み、WWWの仕組み
第5回	【情報セキュリティと情報倫理】 情報セキュリティの基礎、情報社会の権利と法律、著作権
第6回	【ノート術】 Microsoft OneNoteの基礎、OneNoteを用いたノート術
第7回	【文書作成1】 Microsoft Wordの基礎、Wordを用いた文書作成
第8回	【文書作成2】 Wordを用いたレポート作成
第9回	【表計算1】 Microsoft Excelの基礎、Excelを用いた請求書の作成
第10回	【表計算2】 Excelを用いたグラフの作成
第11回	【プレゼンテーション】 Microsoft PowerPointの基礎、PowerPointを用いたプレゼン資料の作成
第12回	【HTML】 HTMLの基礎、CSSの基礎、Webページの作成
第13回	【プログラミング1】 Python環境の準備、Python の基礎、アルゴリズム
第14回	【プログラミング2】 プログラミング演習
第15回	【総合演習・まとめ】

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	必修, 自由 / required, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190582001017	科目番号 / Course code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Course title	情報基礎(M(情1)) / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	柳生 大輔 / Yagyu Daisuke		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	柳生 大輔 / Yagyu Daisuke		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	柳生 大輔 / Yagyu Daisuke		
科目分類 / Course Category	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他, 大学院科目[構造]		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	M(情1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	d-yagyu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター 2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2220		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16:10-17:30 / LACS, 電子メール等による質問等は随時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>【授業の概要】</p> <p>情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)が生活する上での「生きる力」の一つとなっている。大学での学びにおいては、パソコンやネットワークを学術的な情報活用のためのツールとして不自由なく扱えるためのスキルと能力が必要不可欠である。そこで、長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎力として、情報リテラシーを1年次で身につけることとしている。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身につけるとともに、さまざまな情報システムやソフトウェアの活用技術を習得する。授業は、講義と演習を組み合わせる。講義の内容を確実に理解させるため、パソコンの操作演習の課題に加え、授業時間内外に取り組む課題、小テスト、総合課題(予稿・プレゼンテーション作成・発表)を課す。主体的学習促進支援システム(LACS)を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用する。</p> <p>【授業の位置づけ】</p> <p>本科目は教養教育における情報科学科目である。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>情報端末やネットワークを適切に用いて、情報及び情報技術を正しく扱える情報リテラシーを身につけることを到達目標とする。</p> <p>この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げる。</p> <p>(1)情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できるようになる</p> <p>(2)情報、情報機器、ネットワークを利用する際の倫理やセキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できるようになる</p> <p>(3)インターネット(Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算についての基本を理解し、操作方法や活用方法を説明できるようになる</p> <p>(4)情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集、分析、活用できるようになる</p> <p>(5)自信のノートパソコンについて、基本的なセットアップ作業や大学の提供するネットワーク環境への接続を通じて、利用できるようになる</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br/&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br/&gt; Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br/&gt; Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br/&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br/&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br/&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		



成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題等の成果物及び小テストを65%、定期試験を35%として、総合的に評価を行う予定。課題の成果物に未提出が複数ある場合、定期試験の成績に関係なく、不合格と判断する場合がありますので留意されたい。 原則として全回出席を前提とする。やむを得ず正当な理由で欠席した場合は欠席届を提出すること（事前の相談が望ましい）。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	情報技術・セキュリティなどの知識の部分に関しては、事前に示す日経パソコンEdu等の授業コンテンツを事前学習していることを前提に、授業開始時に事前理解度テストを行います。アプリケーションの部分に関しては、手順解説付きの課題について、事前に取り組み成果物を提出してもらいます。授業で解説を行った後、手順の示されていない課題に取り組み成果物を提出してもらいます。
キーワード/Keywords	情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会
教科書・教材・参考書/Materials	<p>教科書：2冊</p> <p>(1)FOM出版：情報基礎（長崎大学生協のみで購入可能。一般の書店では入手できないので注意すること）</p> <p>(2)日経BP社：最新「情報」ハンドブック第2版（及び オンラインサービス「日経パソコンEdu」）：以下のいずれに該当するか十分に確認すること</p> <p>(a)「日経パソコンedu」のライセンスを保有している場合  新入生が長崎大学生協でPC（長崎大学仕様モデル）を購入した場合、または、別途「Windows 10 &amp; Office 活用読本」を購入した場合が該当  購入すべき書籍：最新「情報」ハンドブック第2版 本体のみ販売分：580円＋消費税  ISBN：978-4-8222-7972-1</p> <p>(b)「日経パソコンedu」のライセンスを保有していない場合  購入すべき書籍：最新「情報」ハンドブック第2版（日経パソコンEdu 1年間アクセス権付き）（AXIES版）：2,524円＋消費税  ISBN：978-4-2961-0285-3</p> <p>授業内外で日経パソコンEduのコンテンツも利用します。このためアクセス権が必要になります。今年度長崎大学生協が販売しているパソコン（長崎大学仕様モデル）には、「Windows 10 &amp; Office 活用読本」が付属しています。書籍「Windows 10 &amp; Office 活用読本」には、4年間分の日経パソコンEduのアクセス権が付随しています。したがって、書籍「最新「情報」ハンドブック第2版」本体のみの購入でかまいません。</p> <p>教材：必要に応じて、資料や課題などをLACSに掲載する。</p>
受講要件（履修条件）/Prerequisites	<p>各入学年次に応じた必携PC基本仕様 に応じたノートPC及びACアダプタを毎回持参すること。</p> <p>平成31年度新入学生については、OSはWindows 10 Version 1803以降の日本語版、Officeスイートは本学が無償提供するMicrosoft Office 365 ProPlus日本語版。プリインストールされた日本語版Microsoft Office Professional/Home &amp; Business 2016以降もしくは各自で用意したOffice 365 Soloでもよい</p> <p>再履修者については、入学年次の仕様に準じたもの。ただし、授業及び課題については、新入学生の基準（Windows 10、Microsoft Office 2016以降）で行われることに留意すること。</p> <p>上記のMicrosoft Office製品がインストールされていない場合（いわゆる互換Officeスイート等）、本学が無償提供するMicrosoft Office 365 ProPlusをインストールすること。</p> <p>授業では各自のノートPCをそれぞれ利用します。持参しない場合には現実的に授業に参加できません。初回授業からノートパソコンを利用します。</p>
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先  （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948  （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考（URL）/Remarks（URL）	<a href="https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/">https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/</a>
学生へのメッセージ/Message for students	<p>本科目では、予習（課題を含む）を前提として授業を進行します。授業時間外・授業時間内を含め、各自が積極的に学習に取り組むよう望みます。</p> <p>教科書に書いてあることを覚えれば、教科書に書いてあることを手順通りできればよい、という科目ではありません。どんな科目でもそうですが、学んだことを応用できなければ意味がありません。正解や手順は一つでないものもあります。各自のノートPCやITリソースの活用が十二分にできるようになってください。</p> <p>なお、理解状況によって、各回の授業の進度の調整や順序の変更等を行うことがあります。</p>

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	【ガイダンス】(1/3) 授業の概要及び大学のICTシステムの説明, 無線LAN接続 必ずノートパソコンを持参すること	C
第2回	【ガイダンス】(2/3) PCやOS・アプリケーションの環境設定・確認, LACSの機能の紹介と操 作実習	C
第3回	【ガイダンス】(3/3) LACSの機能の紹介と操作実習(つづき), 電子メールの操作実習 【情報セキュリティ, 情報倫理, 法の関わり】 (情報セキュリティ関連)情報セキュリティの定義, 個人・組織がと るべきセキュリティ対策, ICTに関するストレス対策 (情報倫理, 法律関連)情報倫理, ネットワークコミュニケーション の常識, 個人情報保護など  情報セキュリティ関連については, 以下の日程で定例の授業時間以外 に特別授業を行うので, クラスごとに指定された日時に必ず出席するこ と.  日時: 【教育学部】4月15日(月)と16日(火)のうち, 初年次セミナーが 開講されて<いない>日の第5校時 【医学部医学科】4月18日(木)第5校時 【医学部保健学科】4月18日(木)第5校時 場所: 中部講堂	A
第4回	【プレゼンテーション】 Microsoft PowerPointの基礎, 資料作成上の留意点, プレゼンテーシ ョンの作成, アニメーション等の効果の活用等	C
第5回	【ネットワーク利用と情報の検索】 Webと情報検索, 文献の検索, 著作権	A
第6回	【表計算】(1/4) 以下のことについて4回に分けて取り組む Microsoft Excelの基礎, データ・数式・関数の入力, 表の書式設定, セルの参照	C
第7回	【表計算】(2/4) 表の印刷レイアウトの設定, 印刷方法, グラフの作成	C
第8回	【情報のデジタル化】 デジタル化の意味, 数字・文字・音声・画像のデジタル化	A
第9回	【表計算】(3/4) さまざまな関数の活用	C
第10回	【表計算】(4/4) 複数シートの操作, データベースの操作	C
第11回	【コンピュータの基礎】 コンピュータの構成, オペレーティングシステムの基礎	A
第12回	【文書作成】(1/2) 以下のことについて2回に分けて取り組む Microsoft Wordの基礎, 文字と段落の書式, オブジェクトの操作, 表 の作成, 数式の作成	C
第13回	【文書作成】(2/2) ページ設定, 印刷方法, ページ罫線, ワードアート挿入, スタイルの 設定	C
第14回	【ネットワークの基礎】 ネットワークの構成, インターネットの基礎, クラウド	A
第15回	【総合演習】 授業の振り返り, プレゼンテーション実演	A
第16回	【定期試験】	A

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	必修, 自由 / required, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190582001018	科目番号 / Course code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Course title	情報基礎(T(情3)) / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古賀 掲維 / Koga Aoi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	古賀 掲維 / Koga Aoi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	古賀 掲維 / Koga Aoi		
科目分類 / Course Category	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他, 大学院科目[構造]		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	ICT基盤センターセミナールーム		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	工学部1年次(T(情3))		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aoikoga_ms.cc.nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター棟 2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2097		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週木曜日13:00?14:20		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	情報システムおよび各種ソフトウェアに関する知識・技能を身に付け、それを活用できるようになることを目的としている。また、情報システムやネットワークを利用する際に考慮すべき情報セキュリティや情報倫理についても十分な知識を身に付けさせる。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータ(ハードウェア、ソフトウェア)に関する基礎知識を説明できる。</li> <li>・ネットワーク(インターネット等)に関する基礎知識を説明できる。</li> <li>・電子メール、ウェブブラウザを活用できる。</li> <li>・生産性向上ソフト(Word, Excel, PowerPoint等)を活用できる。</li> <li>・情報セキュリティ、情報倫理を考慮して情報システムやネットワークを利用できる。</li> <li>・簡単なプログラムを作成できる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業中課題及び小テスト : 70% 期末課題またはテスト : 30% を予定している。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			

教科書・教材・参考書/Materials	<p>本授業では、『日経パソコンEdu』というオンラインサービスを利用する。 『日経パソコンEdu』のライセンスの保有状況によって、購入すべき教科書が異なるので、十分に注意すること。</p> <p>(1) 『日経パソコンEdu』のライセンスを保有している場合（長崎大学生協でパソコン（長崎大学仕様モデル）と一緒に活用読本を購入している場合） 【購入する書籍】 書籍名：最新「情報」ハンドブック第2版 出版社：日経BP社 ISBN：978-4-8222-7972-1 価格：本体580円＋税</p> <p>(2) 『日経パソコンEdu』のライセンスを保有していない場合 【購入する書籍】 書籍名：最新「情報」ハンドブック第2版（日経パソコンEdu 1年間アクセス権付き） 出版社：日経BP社 ISBN：978-4-2961-0285-3 価格：本体2,524円＋税</p>
受講要件（履修条件）/Prerequisites	<p>Windows 10 および Office 365 ProPlusがインストールされたノートパソコンおよびACアダプタを毎回必ず持参すること。 授業では各自のノートパソコンを用いるので、持参しない場合は授業に参加できないので注意すること。</p> <p>Office 365 ProPlus は本学が無償で提供しますので、購入は不要です。</p>
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回（日時）/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	【ガイダンス1】 イントロダクション、無線LANへの接続、セットアップ状況の確認、LACSの利用方法(1)
第2回	【ガイダンス2】 電子メールの設定、クラウドストレージの設定、LACSの利用方法(2)
第3回	【コンピュータの基礎】 コンピュータの仕組み、OSとアプリケーション、マルチメディア
第4回	【インターネットの基礎】 インターネットの仕組み、電子メールの仕組み、WWWの仕組み
第5回	【情報セキュリティと情報倫理】 情報セキュリティの基礎、情報社会の権利と法律、著作権
第6回	【ノート術】 Microsoft OneNoteの基礎、OneNoteを用いたノート術
第7回	【文書作成1】 Microsoft Wordの基礎、Wordを用いた文書作成
第8回	【文書作成2】 Wordを用いたレポート作成
第9回	【表計算1】 Microsoft Excelの基礎、Excelを用いた請求書の作成
第10回	【表計算2】 Excelを用いたグラフの作成
第11回	【プレゼンテーション】 Microsoft PowerPointの基礎、PowerPointを用いたプレゼン資料の作成
第12回	【HTML】 HTMLの基礎、CSSの基礎、Webページの作成
第13回	【プログラミング1】 Python環境の準備、Python の基礎、アルゴリズム
第14回	【プログラミング2】 プログラミング演習
第15回	【総合演習・まとめ】

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/25		
必修選択 / Required / Elective	必修, 自由 / required, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190582001019	科目番号 / Course code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Course title	情報基礎(M(情4)) / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	柳生 大輔 / Yagyu Daisuke		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	柳生 大輔 / Yagyu Daisuke		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	柳生 大輔 / Yagyu Daisuke		
科目分類 / Course Category	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他, 大学院科目[構造]		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	M(情4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	d-yagyu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター 2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2220		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16:10-17:30 / LACS, 電子メール等による質問等は随時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>【授業の概要】</p> <p>情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)が生活する上での「生きる力」の一つとなっている。大学での学びにおいては、パソコンやネットワークを学術的な情報活用のためのツールとして不自由なく扱えるためのスキルと能力が必要不可欠である。そこで、長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎力として、情報リテラシーを1年次で身につけることとしている。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身につけるとともに、さまざまな情報システムやソフトウェアの活用技術を習得する。授業は、講義と演習を組み合わせる。講義の内容を確実に理解させるため、パソコンの操作演習の課題に加え、授業時間内外に取り組む課題、小テスト、総合課題(予稿・プレゼンテーション作成・発表)を課す。主体的学習促進支援システム(LACS)を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用する。</p> <p>【授業の位置づけ】</p> <p>本科目は教養教育における情報科学科目である。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>情報端末やネットワークを適切に用いて、情報及び情報技術を正しく扱える情報リテラシーを身につけることを到達目標とする。</p> <p>この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げる。</p> <p>(1)情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できるようになる</p> <p>(2)情報、情報機器、ネットワークを利用する際の倫理やセキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できるようになる</p> <p>(3)インターネット(Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算についての基本を理解し、操作方法や活用方法を説明できるようになる</p> <p>(4)情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集、分析、活用できるようになる</p> <p>(5)自信のノートパソコンについて、基本的なセットアップ作業や大学の提供するネットワーク環境への接続を通じて、利用できるようになる</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br/&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br/&gt; Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br/&gt; Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br/&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br/&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br/&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題等の成果物及び小テストを65%、定期試験を35%として、総合的に評価を行う予定。 課題の成果物に未提出が複数ある場合、定期試験の成績に関係なく、不合格と判断する場合があるので留意されたい。 原則として全回出席を前提とする。やむを得ず正当な理由で欠席した場合は欠席届を提出すること（事前の相談が望ましい）。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	情報技術・セキュリティなどの知識の部分に関しては、事前に示す日経パソコンEdu等の授業コンテンツを事前学習していることを前提に、授業開始時に事前理解度テストを行います。 アプリケーションの部分に関しては、手順解説付きの課題について、事前に取り組み成果物を提出してもらいます。授業で解説を行った後、手順の示されていない課題に取り組み成果物を提出してもらいます。
キーワード/Keywords	情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：2冊 (1)FOM出版：情報基礎（長崎大学生協のみで購入可能。一般の書店では入手できないので注意すること）  (2)日経BP社：最新「情報」ハンドブック第2版（及び オンラインサービス「日経パソコンEdu」）：以下のいずれに該当するか十分に確認すること  (a)「日経パソコンedu」のライセンスを保有している場合 新入生が長崎大学生協でPC（長崎大学仕様モデル）を購入した場合、または、別途「Windows 10 & Office 活用読本」を購入した場合が該当 購入すべき書籍：最新「情報」ハンドブック第2版 本体のみ販売分：580円＋消費税 ISBN：978-4-8222-7972-1  (b)「日経パソコンedu」のライセンスを保有していない場合 購入すべき書籍：最新「情報」ハンドブック第2版（日経パソコンEdu 1年間アクセス権付き）（AXIES版）：2,524円＋消費税 ISBN：978-4-2961-0285-3  授業内外で日経パソコンEduのコンテンツも利用します。このためアクセス権が必要になります。今年度長崎大学生協が販売しているパソコン（長崎大学仕様モデル）には、「Windows 10 & Office 活用読本」が付属しています。書籍「Windows 10 & Office 活用読本」には、4年間分の日経パソコンEduのアクセス権が付随しています。したがって、書籍「最新「情報」ハンドブック第2版」本体のみの購入でかまいません。  教材：必要に応じて、資料や課題などをLACSに掲載する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	各入学年次に応じた必携PC基本仕様 に応じたノートPC及びACアダプタを毎回持参すること。  平成31年度新入学生については、OSはWindows 10 Version 1803以降の日本語版、Officeスイートは本学が無償提供するMicrosoft Office 365 ProPlus日本語版。プリインストールされた日本語版Microsoft Office Professional/Home & Business 2016以降もしくは各自で用意したOffice 365 Soloでもよい  再履修者については、入学年次の仕様に準じたもの。ただし、授業及び課題については、新入学生の基準（Windows 10, Microsoft Office 2016以降）で行われることに留意すること。  上記のMicrosoft Office製品がインストールされていない場合（いわゆる互換Officeスイート等）、本学が無償提供するMicrosoft Office 365 ProPlusをインストールすること。  授業では各自のノートPCをそれぞれ利用します。持参しない場合には現実的に授業に参加できません。初回授業からノートパソコンを利用します。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。  アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	<a href="https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/">https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/</a>
学生へのメッセージ/Message for students	本科目では、予習（課題を含む）を前提として授業を進行します。授業時間外・授業時間内を含め、各自が積極的に学習に取り組むよう望みます。  教科書に書いてあることを覚えれば、教科書に書いてあることを手順通りできればよい、という科目ではありません。どんな科目でもそうですが、学んだことを応用できなければ意味がありません。正解や手順は一つでないものもあります。各自のノートPCやITリソースの活用が十二分にできるようになってください。  なお、理解状況によって、各回の授業の進度の調整や順序の変更等を行うことがあります。

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	【ガイダンス】(1/3) 授業の概要及び大学のICTシステムの説明, 無線LAN接続 必ずノートパソコンを持参すること	C
第2回	【ガイダンス】(2/3) PCやOS・アプリケーションの環境設定・確認, LACSの機能の紹介と操 作実習	C
第3回	【ガイダンス】(3/3) LACSの機能の紹介と操作実習(つづき), 電子メールの操作実習 【情報セキュリティ, 情報倫理, 法の関わり】 (情報セキュリティ関連)情報セキュリティの定義, 個人・組織がと るべきセキュリティ対策, ICTに関するストレス対策 (情報倫理, 法律関連)情報倫理, ネットワークコミュニケーション の常識, 個人情報保護など  情報セキュリティ関連については, 以下の日程で定例の授業時間以外 に特別授業を行うので, クラスごとに指定された日時に必ず出席するこ と.  日時: 【教育学部】4月15日(月)と16日(火)のうち, 初年次セミナーが 開講されて<いない>日の第5校時 【医学部医学科】4月18日(木)第5校時 【医学部保健学科】4月18日(木)第5校時 場所: 中部講堂	A
第4回	【プレゼンテーション】 Microsoft PowerPointの基礎, 資料作成上の留意点, プレゼンテーシ ョンの作成, アニメーション等の効果の活用等	C
第5回	【ネットワーク利用と情報の検索】 Webと情報検索, 文献の検索, 著作権	A
第6回	【表計算】(1/4) 以下のことについて4回に分けて取り組む Microsoft Excelの基礎, データ・数式・関数の入力, 表の書式設定, セルの参照	C
第7回	【表計算】(2/4) 表の印刷レイアウトの設定, 印刷方法, グラフの作成	C
第8回	【情報のデジタル化】 デジタル化の意味, 数字・文字・音声・画像のデジタル化	A
第9回	【表計算】(3/4) さまざまな関数の活用	C
第10回	【表計算】(4/4) 複数シートの操作, データベースの操作	C
第11回	【コンピュータの基礎】 コンピュータの構成, オペレーティングシステムの基礎	A
第12回	【文書作成】(1/2) 以下のことについて2回に分けて取り組む Microsoft Wordの基礎, 文字と段落の書式, オブジェクトの操作, 表 の作成, 数式の作成	C
第13回	【文書作成】(2/2) ページ設定, 印刷方法, ページ罫線, ワードアート挿入, スタイルの 設定	C
第14回	【ネットワークの基礎】 ネットワークの構成, インターネットの基礎, クラウド	A
第15回	【総合演習】 授業の振り返り, プレゼンテーション実演	A
第16回	【定期試験】	A

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/25		
必修選択 / Required / Elective	必修, 自由 / required, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190582001020	科目番号 / Course code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Course title	情報基礎(K(情1)) / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi		
科目分類 / Course Category	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他, 大学院科目[構造]		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	ICT基盤センターセミナールーム		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	環境科学部1年生 (K (情1) クラス)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yueshige nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2254		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月5 (事前にメール等で教員と時間調整を行うこと)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p><b>【授業の概要】</b>          情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)が生活する上での「生きる力」の一つとなっている。大学での学びにおいては、パソコンやネットワークを学術的な情報活用のためのツールとして不自由なく扱えるためのスキルと能力が必要不可欠である。そこで、長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎力として、情報リテラシーを1年次で身につけることとしている。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身につけるとともに、さまざまな情報システムやソフトウェアの活用技術を習得する。授業は、講義と演習を組み合わせる。講義の内容を確実に理解させるため、パソコンの操作演習の課題に加え、授業時間内外に取り組みレポート課題や自習課題を出す。主体的学習促進支援システム(LACS)を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用する。</p> <p><b>【授業の位置づけ】</b>          本科目は教養教育における情報科学科目である。</p>		
授業到達目標/Course goals	情報端末やネットワークを適切に用いて、情報及び情報技術を正しく扱える情報リテラシーを身につけることを到達目標とする。 この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げる。 (1) 情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できるようになる (2) 情報、情報機器、やネットワークを利用する際の倫理やセキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できるようになる (3) インターネット(Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算についての基本を理解し、操作方法や活用方法を説明できるようになる (4) 情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集、分析、活用できるようになる (5) 自身のノートパソコンについて、基本的なセットアップ作業や大学の提供するネットワーク環境への接続を通じて、利用できるようになる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		



成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題等の提出物及び小テスト70%、定期試験30%として、総合的に評価を行う予定。課された課題を全て提出しない場合、定期試験の得点に関係なく、不合格となることがあるので注意すること。 原則として全回出席を前提とする。ただし、やむを得ず正当な理由で欠席する場合は担当教員に連絡すること。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	文書作成、表計算、プレゼンテーションにおいては、予習として、指示された内容について、教科書に沿って実行し、成果物をLACS上で提出すること。復習課題等については、授業中に別途指示する。 情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり、情報のデジタル化、コンピュータの基礎、ネットワークの基礎、ネットワーク利用と情報の検索においては、予習として、指示された教科書の内容について熟読すること。復習課題等については、授業中に別途指示する。
キーワード/Keywords	情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：「情報基礎」(生協のみで購入可能。一般の書店では入手できないので注意) 上繁義史、「情報基礎 はじめて学ぶICTの世界」、培風館、2016年 教材：必要に応じて、資料や課題などをLACSにアップする。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	Windows 10及びMS-Office Professional/Home&Business 2016以降がインストールされたノートPC及びACアダプタを毎回必ず持参すること。 上記のMS-Office製品がインストールされていない場合、本学が無償提供するOffice 365 ProPlusをインストールすること。 再履修者も大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講すること。 <a href="http://www.cc.nagasaki-u.ac.jp/service/essential_pc/variety_purchase.html">http://www.cc.nagasaki-u.ac.jp/service/essential_pc/variety_purchase.html</a>
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	<a href="https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/">https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/</a>
学生へのメッセージ/Message for students	本科目では、予習を前提とした授業を進めるので、各自が積極的に学習に取り組むよう望む。なお、理解状況によって、各回の授業の進度の調整や順序の変更等を行うことがある。 各自が所有するノートパソコンの活用法を十二分に習得してもらいたい。 初回授業からノートパソコンを利用するので、セットアップした上で必ず持参すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	上繁 義史 / 財団法人北九州産業学術推進機構、財団法人九州システム情報技術研究所にて、研究員としてIT関連技術の研究に従事/コンピュータの構成要素や基本操作などの技術、情報セキュリティや情報倫理などの話題について講義・演習を行う。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	【ガイダンス】 授業の概要及び大学のICTシステムの説明、無線LAN接続 必ずノートパソコンを持参すること。
第2回	【PCとLACSの活用】 LACSの機能の紹介と操作実習、電子メールの操作実習
第3回	【情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり】 (情報セキュリティ関連)情報セキュリティの定義、個人・組織がとるべきセキュリティ対策、ICTに関するストレス対策 (情報倫理、法律関連)情報倫理、ネチケット、個人情報保護など 次の日程で、授業時間以外に情報セキュリティに関する特別授業を行うので、クラスごとに指定された日時に必ず出席すること。 日時：4月19日(金)5校時 (上位年次生は4月15日、16日、18日、19日のいずれの回に出席しても良い) 場所：中部講堂
第4回	【表計算(1/4)】 Microsoft Excelの基礎、データ・数式・関数の入力、表の書式設定、セルの参照
第5回	【表計算(2/4)】 表の印刷レイアウトの設定、印刷方法、グラフの作成
第6回	【情報のデジタル化】 デジタル化の意味、数字・文字・音声・画像のデジタル化
第7回	【表計算(3/4)】 さまざまな関数の活用
第8回	【表計算(4/4)】 複数シートの操作、データベースの操作

第9回	【コンピュータの基礎】 コンピュータの構成、オペレーティングシステムの基礎
第10回	【文書作成(1/2)】 Microsoft Wordの基礎、文字と段落の書式、オブジェクトの操作、表の作成、数式の作成
第11回	【文書作成(2/2)】 ページ設定、印刷方法、ページ罫線、ワードアート挿入、スタイルの設定
第12回	【プレゼンテーション】 Microsoft PowerPointの基礎、資料作成上の留意点、プレゼンテーションの作成、アニメーション等の効果の活用等
第13回	【ネットワークの基礎】 ネットワークの構成、インターネットの基礎、クラウド
第14回	【ネットワーク利用と情報の検索】 WWW、情報の検索、著作権
第15回	【総合演習】 授業の振り返り
第16回	【定期試験】

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/25		
必修選択 / Required / Elective	必修, 自由 / required, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190582001021	科目番号 / Course code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Course title	情報基礎(D1・D2) / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古賀 掲維 / Koga Aoi, 入口 真夕子		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	古賀 掲維 / Koga Aoi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	古賀 掲維 / Koga Aoi, 入口 真夕子		
科目分類 / Course Category	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他, 大学院科目[構造]		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	ICT基盤センターセミナールーム		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	歯学部1年次(D1・D2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aoikoga_ms.cc.nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター棟 2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2097		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週木曜日13:00?14:20		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	情報システムおよび各種ソフトウェアに関する知識・技能を身に付け、それを活用できるようになることを目的としている。また、情報システムやネットワークを利用する際に考慮すべき情報セキュリティや情報倫理についても十分な知識を身に付けさせる。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータ(ハードウェア、ソフトウェア)に関する基礎知識を説明できる。</li> <li>・ネットワーク(インターネット等)に関する基礎知識を説明できる。</li> <li>・電子メール、ウェブブラウザを活用できる。</li> <li>・生産性向上ソフト(Word, Excel, PowerPoint等)を活用できる。</li> <li>・情報セキュリティ、情報倫理を考慮して情報システムやネットワークを利用できる。</li> <li>・簡単なプログラムを作成できる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業中課題及び小テスト : 70% 期末課題またはテスト : 30% を予定している。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			

教科書・教材・参考書/Materials	<p>本授業では、『日経パソコンEdu』というオンラインサービスを利用する。 『日経パソコンEdu』のライセンスの保有状況によって、購入すべき教科書が異なるので、十分に注意すること。</p> <p>(1) 『日経パソコンEdu』のライセンスを保有している場合（長崎大学生協でパソコン（長崎大学仕様モデル）と一緒に活用読本を購入している場合） 【購入する書籍】 書籍名：最新「情報」ハンドブック第2版 出版社：日経BP社 ISBN：978-4-8222-7972-1 価格：本体580円＋税</p> <p>(2) 『日経パソコンEdu』のライセンスを保有していない場合 【購入する書籍】 書籍名：最新「情報」ハンドブック第2版（日経パソコンEdu 1年間アクセス権付き） 出版社：日経BP社 ISBN：978-4-2961-0285-3 価格：本体2,524円＋税</p>
受講要件（履修条件）/Prerequisites	<p>Windows 10 および Office 365 ProPlusがインストールされたノートパソコンおよびACアダプタを毎回必ず持参すること。 授業では各自のノートパソコンを用いるので、持参しない場合は授業に参加できないので注意すること。</p> <p>Office 365 ProPlus は本学が無償で提供しますので、購入は不要です。</p>
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回（日時）/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	【ガイダンス1】 イントロダクション、無線LANへの接続、セットアップ状況の確認、LACSの利用方法(1)
第2回	【ガイダンス2】 電子メールの設定、クラウドストレージの設定、LACSの利用方法(2)
第3回	【コンピュータの基礎】 コンピュータの仕組み、OSとアプリケーション、マルチメディア
第4回	【インターネットの基礎】 インターネットの仕組み、電子メールの仕組み、WWWの仕組み
第5回	【情報セキュリティと情報倫理】 情報セキュリティの基礎、情報社会の権利と法律、著作権
第6回	【ノート術】 Microsoft OneNoteの基礎、OneNoteを用いたノート術
第7回	【文書作成1】 Microsoft Wordの基礎、Wordを用いた文書作成
第8回	【文書作成2】 Wordを用いたレポート作成
第9回	【表計算1】 Microsoft Excelの基礎、Excelを用いた請求書の作成
第10回	【表計算2】 Excelを用いたグラフの作成
第11回	【プレゼンテーション】 Microsoft PowerPointの基礎、PowerPointを用いたプレゼン資料の作成
第12回	【HTML】 HTMLの基礎、CSSの基礎、Webページの作成
第13回	【プログラミング1】 Python環境の準備、Python の基礎、アルゴリズム
第14回	【プログラミング2】 プログラミング演習
第15回	【総合演習・まとめ】

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/25		
必修選択 / Required / Elective	必修, 自由 / required, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190582001022	科目番号 / Course code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Course title	情報基礎(T(情6)) / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi		
科目分類 / Course Category	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他, 大学院科目[構造]		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	ICT基盤センターセミナールーム		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	工学部1年生 (T (情6) クラス)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yueshige nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2254		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月5 (事前にメール等で教員と時間調整を行うこと)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>【授業の概要】</p> <p>情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)が生活する上での「生きる力」の一つとなっている。大学での学びにおいては、パソコンやネットワークを学術的な情報活用のためのツールとして不自由なく扱えるためのスキルと能力が必要不可欠である。そこで、長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎力として、情報リテラシーを1年次で身につけることとしている。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身につけるとともに、さまざまな情報システムやソフトウェアの活用技術を習得する。授業は、講義と演習を組み合わせる。講義の内容を確実に理解させるため、パソコンの操作演習の課題に加え、授業時間内外に取り組みレポート課題や自習課題を出す。主体的学習促進支援システム(LACS)を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用する。</p> <p>【授業の位置づけ】</p> <p>本科目は教養教育における情報科学科目である。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>情報端末やネットワークを適切に用いて、情報及び情報技術を正しく扱える情報リテラシーを身につけることを到達目標とする。</p> <p>この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できるようになる</li> <li>(2) 情報、情報機器、やネットワークを利用する際の倫理やセキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できるようになる</li> <li>(3) インターネット(Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算についての基本を理解し、操作方法や活用方法を説明できるようになる</li> <li>(4) 情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集、分析、活用できるようになる</li> <li>(5) 自身のノートパソコンについて、基本的なセットアップ作業や大学の提供するネットワーク環境への接続を通じて、利用できるようになる</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題等の提出物及び小テスト70%、定期試験30%として、総合的に評価を行う予定。課された課題を全て提出しない場合、定期試験の得点に関係なく、不合格となることがあるので注意すること。 原則として全回出席を前提とする。ただし、やむを得ず正当な理由で欠席する場合は担当教員に連絡すること。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	文書作成、表計算、プレゼンテーションにおいては、予習として、指示された内容について、教科書に沿って実行し、成果物をLACS上で提出すること。復習課題等については、授業中に別途指示する。 情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり、情報のデジタル化、コンピュータの基礎、ネットワークの基礎、ネットワーク利用と情報の検索においては、予習として、指示された教科書の内容について熟読すること。復習課題等については、授業中に別途指示する。
キーワード/Keywords	情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：「情報基礎」(生協のみで購入可能。一般の書店では入手できないので注意) 上繁義史、「情報基礎 はじめて学ぶICTの世界」、培風館、2016年 教材：必要に応じて、資料や課題などをLACSにアップする。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	Windows 10及びMS-Office Professional/Home&Business 2016以降がインストールされたノートPC及びACアダプタを毎回必ず持参すること。 上記のMS-Office製品がインストールされていない場合、本学が無償提供するOffice 365 ProPlusをインストールすること。 再履修者も大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講すること。 <a href="http://www.cc.nagasaki-u.ac.jp/service/essential_pc/variety_purchase.html">http://www.cc.nagasaki-u.ac.jp/service/essential_pc/variety_purchase.html</a>
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	<a href="https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/">https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/</a>
学生へのメッセージ/Message for students	本科目では、予習を前提とした授業を進めるので、各自が積極的に学習に取り組むよう望む。なお、理解状況によって、各回の授業の進度の調整や順序の変更等を行うことがある。 各自が所有するノートパソコンの活用法を十二分に習得してもらいたい。 初回授業からノートパソコンを利用するので、セットアップした上で必ず持参すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	上繁 義史 / 財団法人北九州産業学術推進機構、財団法人九州システム情報技術研究所にて、研究員としてIT関連技術の研究に従事/コンピュータの構成要素や基本操作などの技術、情報セキュリティや情報倫理などの話題について講義・演習を行う。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	【ガイダンス】 授業の概要及び大学のICTシステムの説明、無線LAN接続 必ずノートパソコンを持参すること。
第2回	【PCとLACSの活用】 LACSの機能の紹介と操作実習, 電子メールの操作実習
第3回	【情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり】 (情報セキュリティ関連)情報セキュリティの定義、個人・組織がとるべきセキュリティ対策、ICTに関するストレス対策 (情報倫理、法律関連)情報倫理、ネチケット、個人情報保護など 次の日程で、授業時間以外に情報セキュリティに関する特別授業を行うので、クラスごとに指定された日時に必ず出席すること。 日時：4月18日(木)5校時(機械工学、電気電子工学、情報工学、構造工学の各コース) 4月19日(金)5校時(社会環境デザイン工学、化学・物質工学の各コース) (上位年次生は4月15日、16日、18日、19日のいずれの回に出席しても良い) 場所：中部講堂
第4回	【表計算(1/4)】 Microsoft Excelの基礎、データ・数式・関数の入力、表の書式設定、セルの参照
第5回	【表計算(2/4)】 表の印刷レイアウトの設定、印刷方法、グラフの作成
第6回	【情報のデジタル化】 デジタル化の意味、数字・文字・音声・画像のデジタル化
第7回	【表計算(3/4)】 さまざまな関数の活用
第8回	【表計算(4/4)】 複数シートの操作、データベースの操作

第9回	【コンピュータの基礎】 コンピュータの構成、オペレーティングシステムの基礎
第10回	【文書作成(1/2)】 Microsoft Wordの基礎、文字と段落の書式、オブジェクトの操作、表の作成、数式の作成
第11回	【文書作成(2/2)】 ページ設定、印刷方法、ページ罫線、ワードアート挿入、スタイルの設定
第12回	【プレゼンテーション】 Microsoft PowerPointの基礎、資料作成上の留意点、プレゼンテーションの作成、アニメーション等の効果の活用等
第13回	【ネットワークの基礎】 ネットワークの構成、インターネットの基礎、クラウド
第14回	【ネットワーク利用と情報の検索】 WWW、情報の検索、著作権
第15回	【総合演習】 授業の振り返り
第16回	【定期試験】

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/25		
必修選択 / Required / Elective	必修, 自由 / required, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190582001023	科目番号 / Course code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Course title	情報基礎(T(情7)) / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
科目分類 / Course Category	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他, 大学院科目[構造]		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	工学部1年 (T情7クラス)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	k-niwa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	ICT基盤センター2階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2084		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火 9:00-11:00 (事前にメール等で教員と時間調整を行うこと)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>【授業の概要】</p> <p>情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)が生活する上での「生きる力」の一つとなっている。大学での学びにおいては、パソコンやネットワークを学術的な情報活用のためのツールとして不自由なく扱えるためのスキルと能力が必要不可欠である。そこで、長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎力として、情報リテラシーを1年次で身につけることとしている。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身につけるとともに、さまざまな情報システムやソフトウェアの活用技術を習得する。授業は、講義と演習を組み合わせる。講義の内容を確実に理解させるため、パソコンの操作演習の課題に加え、授業時間内外に取り組みレポート課題や自習課題を出す。主体的学習促進支援システム(LACS)を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用する。</p> <p>【授業の位置づけ】</p> <p>本科目は教養教育における情報科学科目である。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>情報端末やネットワークを適切に用いて、情報及び情報技術を正しく扱える情報リテラシーを身につけることを到達目標とする。</p> <p>この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できるようになる</li> <li>(2) 情報、情報機器、やネットワークを利用する際の倫理やセキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できるようになる</li> <li>(3) インターネット(Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算についての基本を理解し、操作方法や活用方法を説明できるようになる</li> <li>(4) 情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集、分析、活用できるようになる</li> <li>(5) 自身のノートパソコンについて、基本的なセットアップ作業や大学の提供するネットワーク環境への接続を通じて、利用できるようになる</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		



成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題等の提出物及び小テスト70%、定期試験30%として、総合的に評価を行う予定。課された課題を全て提出しない場合、定期試験の得点に関係なく、不合格となることがあるので注意すること。 原則として全回出席を前提とする。ただし、やむを得ず正当な理由で欠席する場合は担当教員に連絡すること。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	文書作成、表計算、プレゼンテーションにおいては、予習として、指示された内容について、教科書に沿って実行し、成果物をLACS上で提出すること。復習課題等については、授業中に別途指示する。 情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり、情報のデジタル化、コンピュータの基礎、ネットワークの基礎、ネットワーク利用と情報の検索においては、予習として、指示された教科書の内容について熟読すること。復習課題等については、授業中に別途指示する。
キーワード/Keywords	情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：「情報基礎」(生協のみで購入可能。一般の書店では入手できないので注意) 上繁義史、「情報基礎 はじめて学ぶICTの世界」、培風館、2016年 教材：必要に応じて、資料や課題などをLACSにアップする。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	Windows 10/8.1及びMS-Office Professional/Home&Business 2013以降がインストールされたノートPC及びACアダプタを毎回必ず持参すること。 上記のMS-Office製品がインストールされていない場合、本学が無償提供するOffice 365 ProPlusをインストールすること。 再履修者も大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講すること。 <a href="http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/H29/30pc-model.pdf">http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/H29/30pc-model.pdf</a>
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	<a href="https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/">https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/</a>
学生へのメッセージ/Message for students	本科目では、予習を前提とした授業を進めるので、各自が積極的に学習に取り組むよう望む。なお、理解状況によって、各回の授業の進捗の調整や順序の変更等を行うことがある。各自が所有するノートパソコンの活用法を十二分に習得してもらいたい。 初回授業からノートパソコンを利用するので、セットアップした上で必ず持参すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	実務家教員名：丹羽量久 【実務経験内容】 社会基盤構造物の設計・製作に関する線形/非線形構造解析のコンサルテーションおよび技術営業業務、橋梁の自動設計システムのうち変形・応力を計算するソフトウェア群の開発、科学技術やWebに関わるITシステム構築の提案を行う営業業務、既存業務以外の分野における新規事業の開拓・事業化、および関係部署のマネージャーとしての年度計画の立案・数値の管理・統制等の業務。 【実務経験に基づく教育内容】 コンピュータやインターネットに関わるときに注意すべきことについて、その仕組みや根拠を実務から得た問題点等を加味しながら講義する。また、演習の際は、周りとのコミュニケーションを取りながら、わからないことを解決していく経験を積ませる。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	【ガイダンス】 授業の概要及び大学のICTシステムの説明、無線LAN接続 必ずノートパソコンを持参すること。
第2回	【PCとLACSの活用】 LACSの機能の紹介と操作実習、電子メールの操作実習
第3回	【情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり】 (情報セキュリティ関連)情報セキュリティの定義、個人・組織がとるべきセキュリティ対策、ICTに関するストレス対策 (情報倫理、法律関連)情報倫理、ネチケット、個人情報保護など 次の日程で、授業時間以外に情報セキュリティに関する特別授業を行うので、クラスごとに指定された日時に必ず出席すること。 日時：4月15日(月) 第5校時 もしくは 4月16日(火) 第5校時(多文化・教育・経済・水産) 4月18日(木) 第5校時 もしくは 4月19日(金) 第5校時(医学・歯学・薬学・工学・環境科学) 場所：中部講堂
第4回	【表計算(1/4)】 Microsoft Excelの基礎、データ・数式・関数の入力、表の書式設定、セルの参照
第5回	【表計算(2/4)】 表の印刷レイアウトの設定、印刷方法、グラフの作成
第6回	【情報のデジタル化】 デジタル化の意味、数字・文字・音声・画像のデジタル化

第7回	【表計算(3/4)】 さまざまな関数の活用
第8回	【表計算(4/4)】 複数シートの操作、データベースの操作
第9回	【コンピュータの基礎】 コンピュータの構成、オペレーティングシステムの基礎
第10回	【文書作成(1/2)】 Microsoft Wordの基礎、文字と段落の書式、オブジェクトの操作、表の作成、数式の作成
第11回	【文書作成(2/2)】 ページ設定、印刷方法、ページ罫線、ワードアート挿入、スタイルの設定
第12回	【プレゼンテーション】 Microsoft PowerPointの基礎、資料作成上の留意点、プレゼンテーションの作成、アニメーション等の効果の活用等
第13回	【ネットワークの基礎】 ネットワークの構成、インターネットの基礎、クラウド
第14回	【ネットワーク利用と情報の検索】 WWW、情報の検索、著作権
第15回	【総合演習】 授業の振り返り
第16回	【定期試験】

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/25		
必修選択 / Required / Elective	必修, 自由 / required, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190582001024	科目番号 / Course code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Course title	情報基礎(M(情2)) / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	柳生 大輔 / Yagyu Daisuke		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	柳生 大輔 / Yagyu Daisuke		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	柳生 大輔 / Yagyu Daisuke		
科目分類 / Course Category	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他, 大学院科目[構造]		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	M(情2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	d-yagyu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター 2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2220		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16:10-17:30 / LACS, 電子メール等による質問等は随時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>【授業の概要】</p> <p>情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)が生活する上での「生きる力」の一つとなっている。大学での学びにおいては、パソコンやネットワークを学術的な情報活用のためのツールとして不自由なく扱えるためのスキルと能力が必要不可欠である。そこで、長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎力として、情報リテラシーを1年次で身につけることとしている。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身につけるとともに、さまざまな情報システムやソフトウェアの活用技術を習得する。授業は、講義と演習を組み合わせる。講義の内容を確実に理解させるため、パソコンの操作演習の課題に加え、授業時間内外に取り組む課題、小テスト、総合課題(予稿・プレゼンテーション作成・発表)を課す。主体的学習促進支援システム(LACS)を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用する。</p> <p>【授業の位置づけ】</p> <p>本科目は教養教育における情報科学科目である。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>情報端末やネットワークを適切に用いて、情報及び情報技術を正しく扱える情報リテラシーを身につけることを到達目標とする。</p> <p>この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げる。</p> <p>(1)情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できるようになる</p> <p>(2)情報、情報機器、ネットワークを利用する際の倫理やセキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できるようになる</p> <p>(3)インターネット(Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算についての基本を理解し、操作方法や活用方法を説明できるようになる</p> <p>(4)情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集、分析、活用できるようになる</p> <p>(5)自信のノートパソコンについて、基本的なセットアップ作業や大学の提供するネットワーク環境への接続を通じて、利用できるようになる</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br/&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br/&gt; Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br/&gt; Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br/&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br/&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br/&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題等の成果物及び小テストを65%、定期試験を35%として、総合的に評価を行う予定。 課題の成果物に未提出が複数ある場合、定期試験の成績に関係なく、不合格と判断する場合があるので留意されたい。 原則として全回出席を前提とする。やむを得ず正当な理由で欠席した場合は欠席届を提出すること（事前の相談が望ましい）。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	情報技術・セキュリティなどの知識の部分に関しては、事前に示す日経パソコンEdu等の授業コンテンツを事前学習していることを前提に、授業開始時に事前理解度テストを行います。 アプリケーションの部分に関しては、手順解説付きの課題について、事前に取り組み成果物を提出してもらいます。授業で解説を行った後、手順の示されていない課題に取り組み成果物を提出してもらいます。
キーワード/Keywords	情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：2冊 (1)FOM出版：情報基礎（長崎大学生協のみで購入可能。一般の書店では入手できないので注意すること）  (2)日経BP社：最新「情報」ハンドブック第2版（及び オンラインサービス「日経パソコンEdu」）：以下のいずれに該当するか十分に確認すること  (a)「日経パソコンedu」のライセンスを保有している場合 新入生が長崎大学生協でPC（長崎大学仕様モデル）を購入した場合、または、別途「Windows 10 & Office 活用読本」を購入した場合が該当 購入すべき書籍：最新「情報」ハンドブック第2版 本体のみ販売分：580円＋消費税 ISBN：978-4-8222-7972-1  (b)「日経パソコンedu」のライセンスを保有していない場合 購入すべき書籍：最新「情報」ハンドブック第2版（日経パソコンEdu 1年間アクセス権付き）（AXIES版）：2,524円＋消費税 ISBN：978-4-2961-0285-3  授業内外で日経パソコンEduのコンテンツも利用します。このためアクセス権が必要になります。今年度長崎大学生協が販売しているパソコン（長崎大学仕様モデル）には、「Windows 10 & Office 活用読本」が付属しています。書籍「Windows 10 & Office 活用読本」には、4年間分の日経パソコンEduのアクセス権が付随しています。したがって、書籍「最新「情報」ハンドブック第2版」本体のみの購入でかまいません。  教材：必要に応じて、資料や課題などをLACSに掲載する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	各入学年次に応じた必携PC基本仕様 に応じたノートPC及びACアダプタを毎回持参すること。  平成31年度新入学生については、OSはWindows 10 Version 1803以降の日本語版、Officeスイートは本学が無償提供するMicrosoft Office 365 ProPlus日本語版。プリインストールされた日本語版Microsoft Office Professional/Home & Business 2016以降もしくは各自で用意したOffice 365 Soloでもよい  再履修者については、入学年次の仕様に準じたもの。ただし、授業及び課題については、新入学生の基準（Windows 10, Microsoft Office 2016以降）で行われることに留意すること。  上記のMicrosoft Office製品がインストールされていない場合（いわゆる互換Officeスイート等）、本学が無償提供するMicrosoft Office 365 ProPlusをインストールすること。  授業では各自のノートPCをそれぞれ利用します。持参しない場合には現実的に授業に参加できません。初回授業からノートパソコンを利用します。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。  アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	<a href="https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/">https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/</a>
学生へのメッセージ/Message for students	本科目では、予習（課題を含む）を前提として授業を進行します。授業時間外・授業時間内を含め、各自が積極的に学習に取り組むよう望みます。  教科書に書いてあることを覚えれば、教科書に書いてあることを手順通りできればよい、という科目ではありません。どんな科目でもそうですが、学んだことを応用できなければ意味がありません。正解や手順は一つでないものもあります。各自のノートPCやITリソースの活用が十二分にできるようになってください。  なお、理解状況によって、各回の授業の進度の調整や順序の変更等を行うことがあります。

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	【ガイダンス】(1/3) 授業の概要及び大学のICTシステムの説明, 無線LAN接続 必ずノートパソコンを持参すること	C
第2回	【ガイダンス】(2/3) PCやOS・アプリケーションの環境設定・確認, LACSの機能の紹介と操 作実習	C
第3回	【ガイダンス】(3/3) LACSの機能の紹介と操作実習(つづき), 電子メールの操作実習 【情報セキュリティ, 情報倫理, 法の関わり】 (情報セキュリティ関連)情報セキュリティの定義, 個人・組織がと るべきセキュリティ対策, ICTに関するストレス対策 (情報倫理, 法律関連)情報倫理, ネットワークコミュニケーション の常識, 個人情報保護など  情報セキュリティ関連については, 以下の日程で定例の授業時間以外 に特別授業を行うので, クラスごとに指定された日時に必ず出席するこ と.  日時: 【教育学部】4月15日(月)と16日(火)のうち, 初年次セミナーが 開講されて<いない>日の第5校時 【医学部医学科】4月18日(木)第5校時 【医学部保健学科】4月18日(木)第5校時 場所: 中部講堂	A
第4回	【プレゼンテーション】 Microsoft PowerPointの基礎, 資料作成上の留意点, プレゼンテーシ ョンの作成, アニメーション等の効果の活用等	C
第5回	【ネットワーク利用と情報の検索】 Webと情報検索, 文献の検索, 著作権	A
第6回	【表計算】(1/4) 以下のことについて4回に分けて取り組む Microsoft Excelの基礎, データ・数式・関数の入力, 表の書式設定, セルの参照	C
第7回	【表計算】(2/4) 表の印刷レイアウトの設定, 印刷方法, グラフの作成	C
第8回	【情報のデジタル化】 デジタル化の意味, 数字・文字・音声・画像のデジタル化	A
第9回	【表計算】(3/4) さまざまな関数の活用	C
第10回	【表計算】(4/4) 複数シートの操作, データベースの操作	C
第11回	【コンピュータの基礎】 コンピュータの構成, オペレーティングシステムの基礎	A
第12回	【文書作成】(1/2) 以下のことについて2回に分けて取り組む Microsoft Wordの基礎, 文字と段落の書式, オブジェクトの操作, 表 の作成, 数式の作成	C
第13回	【文書作成】(2/2) ページ設定, 印刷方法, ページ罫線, ワードアート挿入, スタイルの 設定	C
第14回	【ネットワークの基礎】 ネットワークの構成, インターネットの基礎, クラウド	A
第15回	【総合演習】 授業の振り返り, プレゼンテーション実演	A
第16回	【定期試験】	A

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/25		
必修選択 / Required / Elective	必修, 自由 / required, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190582001025	科目番号 / Course code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Course title	情報基礎(T(情1)) / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古賀 掲維 / Koga Aoi, 入口 真夕子		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	古賀 掲維 / Koga Aoi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	古賀 掲維 / Koga Aoi, 入口 真夕子		
科目分類 / Course Category	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他, 大学院科目[構造]		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	工学部1年次(T(情1))		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aoikoga_ms.cc.nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター棟 2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2097		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週木曜日13:00?14:20		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	情報システムおよび各種ソフトウェアに関する知識・技能を身に付け、それを活用できるようになることを目的としている。また、情報システムやネットワークを利用する際に考慮すべき情報セキュリティや情報倫理についても十分な知識を身に付けさせる。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータ(ハードウェア、ソフトウェア)に関する基礎知識を説明できる。</li> <li>・ネットワーク(インターネット等)に関する基礎知識を説明できる。</li> <li>・電子メール、ウェブブラウザを活用できる。</li> <li>・生産性向上ソフト(Word, Excel, PowerPoint等)を活用できる。</li> <li>・情報セキュリティ、情報倫理を考慮して情報システムやネットワークを利用できる。</li> <li>・簡単なプログラムを作成できる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業中課題及び小テスト : 70% 期末課題またはテスト : 30% を予定している。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			

教科書・教材・参考書/Materials	<p>本授業では、『日経パソコンEdu』というオンラインサービスを利用する。 『日経パソコンEdu』のライセンスの保有状況によって、購入すべき教科書が異なるので、十分に注意すること。</p> <p>(1) 『日経パソコンEdu』のライセンスを保有している場合（長崎大学生協でパソコン（長崎大学仕様モデル）と一緒に活用読本を購入している場合） 【購入する書籍】 書籍名：最新「情報」ハンドブック第2版 出版社：日経BP社 ISBN：978-4-8222-7972-1 価格：本体580円＋税</p> <p>(2) 『日経パソコンEdu』のライセンスを保有していない場合 【購入する書籍】 書籍名：最新「情報」ハンドブック第2版（日経パソコンEdu 1年間アクセス権付き） 出版社：日経BP社 ISBN：978-4-2961-0285-3 価格：本体2,524円＋税</p>
受講要件（履修条件）/Prerequisites	<p>Windows 10 および Office 365 ProPlusがインストールされたノートパソコンおよびACアダプタを毎回必ず持参すること。 授業では各自のノートパソコンを用いるので、持参しない場合は授業に参加できないので注意すること。</p> <p>Office 365 ProPlus は本学が無償で提供しますので、購入は不要です。</p>
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回（日時）/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	【ガイダンス1】 イントロダクション、無線LANへの接続、セットアップ状況の確認、LACSの利用方法(1)
第2回	【ガイダンス2】 電子メールの設定、クラウドストレージの設定、LACSの利用方法(2)
第3回	【コンピュータの基礎】 コンピュータの仕組み、OSとアプリケーション、マルチメディア
第4回	【インターネットの基礎】 インターネットの仕組み、電子メールの仕組み、WWWの仕組み
第5回	【情報セキュリティと情報倫理】 情報セキュリティの基礎、情報社会の権利と法律、著作権
第6回	【ノート術】 Microsoft OneNoteの基礎、OneNoteを用いたノート術
第7回	【文書作成1】 Microsoft Wordの基礎、Wordを用いた文書作成
第8回	【文書作成2】 Wordを用いたレポート作成
第9回	【表計算1】 Microsoft Excelの基礎、Excelを用いた請求書の作成
第10回	【表計算2】 Excelを用いたグラフの作成
第11回	【プレゼンテーション】 Microsoft PowerPointの基礎、PowerPointを用いたプレゼン資料の作成
第12回	【HTML】 HTMLの基礎、CSSの基礎、Webページの作成
第13回	【プログラミング1】 Python環境の準備、Python の基礎、アルゴリズム
第14回	【プログラミング2】 プログラミング演習
第15回	【総合演習・まとめ】

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/25		
必修選択 / Required / Elective	必修, 自由 / required, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190582001026	科目番号 / Course code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Course title	情報基礎(T(情4)) / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi		
科目分類 / Course Category	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他, 大学院科目[構造]		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	ICT基盤センターセミナールーム		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	工学部1年生 (T(情4)クラス)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yueshige nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2254		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月5 (事前にメール等で教員と時間調整を行うこと)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p><b>【授業の概要】</b>          情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)が生活する上での「生きる力」の一つとなっている。大学での学びにおいては、パソコンやネットワークを学術的な情報活用のためのツールとして不自由なく扱えるためのスキルと能力が必要不可欠である。そこで、長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎力として、情報リテラシーを1年次で身につけることとしている。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身につけるとともに、さまざまな情報システムやソフトウェアの活用技術を習得する。授業は、講義と演習を組み合わせる。講義の内容を確実に理解させるため、パソコンの操作演習の課題に加え、授業時間内外に取り組みレポート課題や自習課題を出す。主体的学習促進支援システム(LACS)を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用する。</p> <p><b>【授業の位置づけ】</b>          本科目は教養教育における情報科学科目である。</p>		
授業到達目標/Course goals	情報端末やネットワークを適切に用いて、情報及び情報技術を正しく扱える情報リテラシーを身につけることを到達目標とする。 この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げる。 (1) 情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できるようになる (2) 情報、情報機器、やネットワークを利用する際の倫理やセキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できるようになる (3) インターネット(Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算についての基本を理解し、操作方法や活用方法を説明できるようになる (4) 情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集、分析、活用できるようになる (5) 自身のノートパソコンについて、基本的なセットアップ作業や大学の提供するネットワーク環境への接続を通じて、利用できるようになる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		



成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題等の提出物及び小テスト70%、定期試験30%として、総合的に評価を行う予定。課された課題を全て提出しない場合、定期試験の得点に関係なく、不合格となることがあるので注意すること。 原則として全回出席を前提とする。ただし、やむを得ず正当な理由で欠席する場合は担当教員に連絡すること。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	文書作成、表計算、プレゼンテーションにおいては、予習として、指示された内容について、教科書に沿って実行し、成果物をLACS上で提出すること。復習課題等については、授業中に別途指示する。 情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり、情報のデジタル化、コンピュータの基礎、ネットワークの基礎、ネットワーク利用と情報の検索においては、予習として、指示された教科書の内容について熟読すること。復習課題等については、授業中に別途指示する。
キーワード/Keywords	情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：「情報基礎」(生協のみで購入可能。一般の書店では入手できないので注意) 上繁義史、「情報基礎 はじめて学ぶICTの世界」、培風館、2016年 教材：必要に応じて、資料や課題などをLACSにアップする。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	Windows 10及びMS-Office Professional/Home&Business 2016以降がインストールされたノートPC及びACアダプタを毎回必ず持参すること。 上記のMS-Office製品がインストールされていない場合、本学が無償提供するOffice 365 ProPlusをインストールすること。 再履修者も大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講すること。 <a href="http://www.cc.nagasaki-u.ac.jp/service/essential_pc/variety_purchase.html">http://www.cc.nagasaki-u.ac.jp/service/essential_pc/variety_purchase.html</a>
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	<a href="https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/">https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/</a>
学生へのメッセージ/Message for students	本科目では、予習を前提とした授業を進めるので、各自が積極的に学習に取り組むよう望む。なお、理解状況によって、各回の授業の進度の調整や順序の変更等を行うことがある。 各自が所有するノートパソコンの活用法を十二分に習得してもらいたい。 初回授業からノートパソコンを利用するので、セットアップした上で必ず持参すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	上繁 義史 / 財団法人北九州産業学術推進機構、財団法人九州システム情報技術研究所にて、研究員としてIT関連技術の研究に従事/コンピュータの構成要素や基本操作などの技術、情報セキュリティや情報倫理などの話題について講義・演習を行う。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	【ガイダンス】 授業の概要及び大学のICTシステムの説明、無線LAN接続 必ずノートパソコンを持参すること。
第2回	【PCとLACSの活用】 LACSの機能の紹介と操作実習, 電子メールの操作実習
第3回	【情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり】 (情報セキュリティ関連)情報セキュリティの定義、個人・組織がとるべきセキュリティ対策、ICTに関するストレス対策 (情報倫理、法律関連)情報倫理、ネチケット、個人情報保護など 次の日程で、授業時間以外に情報セキュリティに関する特別授業を行うので、クラスごとに指定された日時に必ず出席すること。 日時：4月18日(木)5校時(機械工学、電気電子工学、情報工学、構造工学の各コース) 4月19日(金)5校時(社会環境デザイン工学、化学・物質工学の各コース) (上位年次生は4月15日、16日、18日、19日のいずれの回に出席しても良い) 場所：中部講堂
第4回	【表計算(1/4)】 Microsoft Excelの基礎、データ・数式・関数の入力、表の書式設定、セルの参照
第5回	【表計算(2/4)】 表の印刷レイアウトの設定、印刷方法、グラフの作成
第6回	【情報のデジタル化】 デジタル化の意味、数字・文字・音声・画像のデジタル化
第7回	【表計算(3/4)】 さまざまな関数の活用
第8回	【表計算(4/4)】 複数シートの操作、データベースの操作

第9回	【コンピュータの基礎】 コンピュータの構成、オペレーティングシステムの基礎
第10回	【文書作成(1/2)】 Microsoft Wordの基礎、文字と段落の書式、オブジェクトの操作、表の作成、数式の作成
第11回	【文書作成(2/2)】 ページ設定、印刷方法、ページ罫線、ワードアート挿入、スタイルの設定
第12回	【プレゼンテーション】 Microsoft PowerPointの基礎、資料作成上の留意点、プレゼンテーションの作成、アニメーション等の効果の活用等
第13回	【ネットワークの基礎】 ネットワークの構成、インターネットの基礎、クラウド
第14回	【ネットワーク利用と情報の検索】 WWW、情報の検索、著作権
第15回	【総合演習】 授業の振り返り
第16回	【定期試験】

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 自由 / required, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190582001027	科目番号 / Course code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Course title	情報基礎(T(情5)) / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古賀 掲維 / Koga Aoi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	古賀 掲維 / Koga Aoi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	古賀 掲維 / Koga Aoi		
科目分類 / Course Category	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他, 大学院科目[構造]		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	ICT基盤センターセミナールーム		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	工学部1年次(T(情5))		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aoikoga_ms.cc.nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター棟 2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2097		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週木曜日13:00?14:20		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	情報システムおよび各種ソフトウェアに関する知識・技能を身に付け、それを活用できるようになることを目的としている。また、情報システムやネットワークを利用する際に考慮すべき情報セキュリティや情報倫理についても十分な知識を身に付けさせる。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータ(ハードウェア、ソフトウェア)に関する基礎知識を説明できる。</li> <li>・ネットワーク(インターネット等)に関する基礎知識を説明できる。</li> <li>・電子メール、ウェブブラウザを活用できる。</li> <li>・生産性向上ソフト(Word, Excel, PowerPoint等)を活用できる。</li> <li>・情報セキュリティ、情報倫理を考慮して情報システムやネットワークを利用できる。</li> <li>・簡単なプログラムを作成できる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業中課題及び小テスト : 70% 期末課題またはテスト : 30% を予定している。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			

教科書・教材・参考書/Materials	<p>本授業では、『日経パソコンEdu』というオンラインサービスを利用する。 『日経パソコンEdu』のライセンスの保有状況によって、購入すべき教科書が異なるので、十分に注意すること。</p> <p>(1) 『日経パソコンEdu』のライセンスを保有している場合（長崎大学生協でパソコン（長崎大学仕様モデル）と一緒に活用読本を購入している場合） 【購入する書籍】 書籍名：最新「情報」ハンドブック第2版 出版社：日経BP社 ISBN：978-4-8222-7972-1 価格：本体580円＋税</p> <p>(2) 『日経パソコンEdu』のライセンスを保有していない場合 【購入する書籍】 書籍名：最新「情報」ハンドブック第2版（日経パソコンEdu 1年間アクセス権付き） 出版社：日経BP社 ISBN：978-4-2961-0285-3 価格：本体2,524円＋税</p>
受講要件（履修条件）/Prerequisites	<p>Windows 10 および Office 365 ProPlusがインストールされたノートパソコンおよびACアダプタを毎回必ず持参すること。 授業では各自のノートパソコンを用いるので、持参しない場合は授業に参加できないので注意すること。</p> <p>Office 365 ProPlus は本学が無償で提供しますので、購入は不要です。</p>
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回（日時）/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	【ガイダンス1】 イントロダクション、無線LANへの接続、セットアップ状況の確認、LACSの利用方法(1)
第2回	【ガイダンス2】 電子メールの設定、クラウドストレージの設定、LACSの利用方法(2)
第3回	【コンピュータの基礎】 コンピュータの仕組み、OSとアプリケーション、マルチメディア
第4回	【インターネットの基礎】 インターネットの仕組み、電子メールの仕組み、WWWの仕組み
第5回	【情報セキュリティと情報倫理】 情報セキュリティの基礎、情報社会の権利と法律、著作権
第6回	【ノート術】 Microsoft OneNoteの基礎、OneNoteを用いたノート術
第7回	【文書作成1】 Microsoft Wordの基礎、Wordを用いた文書作成
第8回	【文書作成2】 Wordを用いたレポート作成
第9回	【表計算1】 Microsoft Excelの基礎、Excelを用いた請求書の作成
第10回	【表計算2】 Excelを用いたグラフの作成
第11回	【プレゼンテーション】 Microsoft PowerPointの基礎、PowerPointを用いたプレゼン資料の作成
第12回	【HTML】 HTMLの基礎、CSSの基礎、Webページの作成
第13回	【プログラミング1】 Python環境の準備、Python の基礎、アルゴリズム
第14回	【プログラミング2】 プログラミング演習
第15回	【総合演習・まとめ】

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 自由 / required, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190582001028	科目番号 / Course code	05820010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEIS 11111_013		
授業科目名 / Course title	情報基礎(M(情3)) / Introduction to Information Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	柳生 大輔 / Yagyu Daisuke		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	柳生 大輔 / Yagyu Daisuke		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	柳生 大輔 / Yagyu Daisuke		
科目分類 / Course Category	情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他, 大学院科目[構造]		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	ICT基盤センターセミナールーム		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	M(情3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	d-yagyu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター 2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2220		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16:10-17:30 / LACS, 電子メール等による質問等は随時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p><b>【授業の概要】</b>          情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)が生活する上での「生きる力」の一つとなっている。大学での学びにおいては、パソコンやネットワークを学術的な情報活用のためのツールとして不自由なく扱えるためのスキルと能力が必要不可欠である。そこで、長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎力として、情報リテラシーを1年次で身につけることとしている。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身につけるとともに、さまざまな情報システムやソフトウェアの活用技術を習得する。授業は、講義と演習を組み合わせる。講義の内容を確実に理解させるため、パソコンの操作演習の課題に加え、授業時間内外に取り組む課題、小テスト、総合課題(予稿・プレゼンテーション作成・発表)を課す。主体的学習促進支援システム(LACS)を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用する。</p> <p><b>【授業の位置づけ】</b>          本科目は教養教育における情報科学科目である。</p>		
授業到達目標/Course goals	情報端末やネットワークを適切に用いて、情報及び情報技術を正しく扱える情報リテラシーを身につけることを到達目標とする。 この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げる。 (1)情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できるようになる (2)情報、情報機器、ネットワークを利用する際の倫理やセキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できるようになる (3)インターネット(Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算についての基本を理解し、操作方法や活用方法を説明できるようになる (4)情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集、分析、活用できるようになる (5)自信のノートパソコンについて、基本的なセットアップ作業や大学の提供するネットワーク環境への接続を通じて、利用できるようになる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題等の成果物及び小テストを65%、定期試験を35%として、総合的に評価を行う予定。 課題の成果物に未提出が複数ある場合、定期試験の成績に関係なく、不合格と判断する場合があるので留意されたい。 原則として全回出席を前提とする。やむを得ず正当な理由で欠席した場合は欠席届を提出すること（事前の相談が望ましい）。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	情報技術・セキュリティなどの知識の部分に関しては、事前に示す日経パソコンEdu等の授業コンテンツを事前学習していることを前提に、授業開始時に事前理解度テストを行います。 アプリケーションの部分に関しては、手順解説付きの課題について、事前に取り組み成果物を提出してもらいます。授業で解説を行った後、手順の示されていない課題に取り組み成果物を提出してもらいます。
キーワード/Keywords	情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：2冊 (1)FOM出版：情報基礎（長崎大学生協のみで購入可能。一般の書店では入手できないので注意すること）  (2)日経BP社：最新「情報」ハンドブック第2版（及び オンラインサービス「日経パソコンEdu」）：以下のいずれに該当するか十分に確認すること  (a)「日経パソコンedu」のライセンスを保有している場合 新入生が長崎大学生協でPC（長崎大学仕様モデル）を購入した場合、または、別途「Windows 10 & Office 活用読本」を購入した場合が該当 購入すべき書籍：最新「情報」ハンドブック第2版 本体のみ販売分：580円＋消費税 ISBN：978-4-8222-7972-1  (b)「日経パソコンedu」のライセンスを保有していない場合 購入すべき書籍：最新「情報」ハンドブック第2版（日経パソコンEdu 1年間アクセス権付き）（AXIES版）：2,524円＋消費税 ISBN：978-4-2961-0285-3  授業内外で日経パソコンEduのコンテンツも利用します。このためアクセス権が必要になります。今年度長崎大学生協が販売しているパソコン（長崎大学仕様モデル）には、「Windows 10 & Office 活用読本」が付属しています。書籍「Windows 10 & Office 活用読本」には、4年間分の日経パソコンEduのアクセス権が付随しています。したがって、書籍「最新「情報」ハンドブック第2版」本体のみの購入でかまいません。  教材：必要に応じて、資料や課題などをLACSに掲載する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	各入学年次に応じた必携PC基本仕様 に応じたノートPC及びACアダプタを毎回持参すること。  平成31年度新入学生については、OSはWindows 10 Version 1803以降の日本語版、Officeスイートは本学が無償提供するMicrosoft Office 365 ProPlus日本語版。プリインストールされた日本語版Microsoft Office Professional/Home & Business 2016以降もしくは各自で用意したOffice 365 Soloでもよい  再履修者については、入学年次の仕様に準じたもの。ただし、授業及び課題については、新入学生の基準（Windows 10, Microsoft Office 2016以降）で行われることに留意すること。  上記のMicrosoft Office製品がインストールされていない場合（いわゆる互換Officeスイート等）、本学が無償提供するMicrosoft Office 365 ProPlusをインストールすること。  授業では各自のノートPCをそれぞれ利用します。持参しない場合には現実的に授業に参加できません。初回授業からノートパソコンを利用します。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。  アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	<a href="https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/">https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/</a>
学生へのメッセージ/Message for students	本科目では、予習（課題を含む）を前提として授業を進行します。授業時間外・授業時間内を含め、各自が積極的に学習に取り組むよう望みます。  教科書に書いてあることを覚えれば、教科書に書いてあることを手順通りできればよい、という科目ではありません。どんな科目でもそうですが、学んだことを応用できなければ意味がありません。正解や手順は一つでないものもあります。各自のノートPCやITリソースの活用が十二分にできるようになってください。  なお、理解状況によって、各回の授業の進度の調整や順序の変更等を行うことがあります。

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	【ガイダンス】(1/3) 授業の概要及び大学のICTシステムの説明, 無線LAN接続 必ずノートパソコンを持参すること	C
第2回	【ガイダンス】(2/3) PCやOS・アプリケーションの環境設定・確認, LACSの機能の紹介と操 作実習	C
第3回	【ガイダンス】(3/3) LACSの機能の紹介と操作実習(つづき), 電子メールの操作実習 【情報セキュリティ, 情報倫理, 法の関わり】 (情報セキュリティ関連) 情報セキュリティの定義, 個人・組織がと るべきセキュリティ対策, ICTに関するストレス対策 (情報倫理, 法律関連) 情報倫理, ネットワークコミュニケーション の常識, 個人情報保護など  情報セキュリティ関連については, 以下の日程で定例の授業時間以外 に特別授業を行うので, クラスごとに指定された日時に必ず出席するこ と.  日時: 【教育学部】4月15日(月)と16日(火)のうち, 初年次セミナーが 開講されて<いない>日の第5校時 【医学部医学科】4月18日(木)第5校時 【医学部保健学科】4月18日(木)第5校時 場所: 中部講堂	A
第4回	【プレゼンテーション】 Microsoft PowerPointの基礎, 資料作成上の留意点, プレゼンテーシ ョンの作成, アニメーション等の効果の活用等	C
第5回	【ネットワーク利用と情報の検索】 Webと情報検索, 文献の検索, 著作権	A
第6回	【表計算】(1/4) 以下のことについて4回に分けて取り組む Microsoft Excelの基礎, データ・数式・関数の入力, 表の書式設定, セルの参照	C
第7回	【表計算】(2/4) 表の印刷レイアウトの設定, 印刷方法, グラフの作成	C
第8回	【情報のデジタル化】 デジタル化の意味, 数字・文字・音声・画像のデジタル化	A
第9回	【表計算】(3/4) さまざまな関数の活用	C
第10回	【表計算】(4/4) 複数シートの操作, データベースの操作	C
第11回	【コンピュータの基礎】 コンピュータの構成, オペレーティングシステムの基礎	A
第12回	【文書作成】(1/2) 以下のことについて2回に分けて取り組む Microsoft Wordの基礎, 文字と段落の書式, オブジェクトの操作, 表 の作成, 数式の作成	C
第13回	【文書作成】(2/2) ページ設定, 印刷方法, ページ罫線, ワードアート挿入, スタイルの 設定	C
第14回	【ネットワークの基礎】 ネットワークの構成, インターネットの基礎, クラウド	A
第15回	【総合演習】 授業の振り返り, プレゼンテーション実演	A
第16回	【定期試験】	A